

7. 水源地域動態

7.1 評価の進め方

7.1.1 評価方針

水源地域動態の評価は大きく2つの流れの評価を行う。一つは、地域との関わりという点で、ダム建設から管理以降、現在までのダム事業を整理するとともに、地域情勢の変遷を整理し、地域においてダムがどのような役割を果たしてきたか、今後の位置づけはどのように考えていくべきか等についての評価方針とする。

もう一つの流れとして、ダム周辺整備事業とダム及びダム周辺の利用状況から評価を行うものである。ダム周辺に整備された施設等が十分に利用されているものとなっているか、又は逆に利用状況から見た施設は十分なものとなっているか等の評価を行う。

最後にこれらをまとめ、ダム及びダム周辺の社会的な評価の総括を行い、課題等について検討する。

7.1.2 評価手順

評価方針のとおり大きく2つの流れにより評価を行いとりまとめることとする。作業のフローは図に示すとおりである。

(1) 水源地域の概況整理

水源地域の地勢や人口等の概要、交通条件や観光施設等のダムの立地特性等の視点から水源地域の概況を把握する。

(2) ダム事業と地域社会の変遷

ダム建設が直接地域社会に与えたインパクト、周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等についてダム事業の経緯とともに変遷を年表形式で整理し、ダム事業と地域社会の係わりを把握する。周辺地域の社会情勢、地域の交流活動・イベント等は、ダムの影響とまでは言えないまでも関連がありそうな事項を抽出する。これらのまとめにより、ダムを含めた水源地域としての地域特性を把握する。

(3) ダムと地域の関わりに関する評価

ダムと地域との関わりとして、(2)をもとに、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」等も参考にしながら、地域におけるダムの位置づけについて考察を行う。さらにダム管理者と地域の関わりとして、至近5ヶ年程度のダム管理者と地域の交流事項等について整理し、管理者の活動等について評価する。

(4) ダム周辺の状況

ダムの周辺環境整備計画を整理するとともに、現況の整備状況等について整理を行い、加えて、「地域に開かれたダム」や「水源地域ビジョン」により新たに整備された施設等についても整理する。

なお、原則は、「水源地域対策特別措置法」で整備した施設等は評価対象としないが、ダム事業と一体となって整備した施設等は含めることとする。

また、施設入り込み数、イベント開催状況等から周辺の利用状況を整理し、利用に関する評価を行う。

(5) 河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果

河川水辺の国勢調査（ダム湖利用実態調査）結果より、ダム周辺施設の年間利用者数、利用形態等についても整理する。また、アンケート調査結果から、利用者がどのような感想をもっているかについても整理し、利用者の視点からのダム周辺施設（環境整備）の評価を行う。

(6) その他関連事項の整理

水源地域の社会動態に関する既往検討資料、または景観検討資料、施設の維持管理に関する検討資料等、関連する資料があれば整理する。

(7) まとめ

以上より、地域とダムの関わり、ダムの利用状況に関する評価結果をまとめ、ダムの特徴、課題等について整理する。また、負の評価結果となった事項があれば、これらについて要因を整理し、極力改善策等の提案についてとりまとめるものとする。

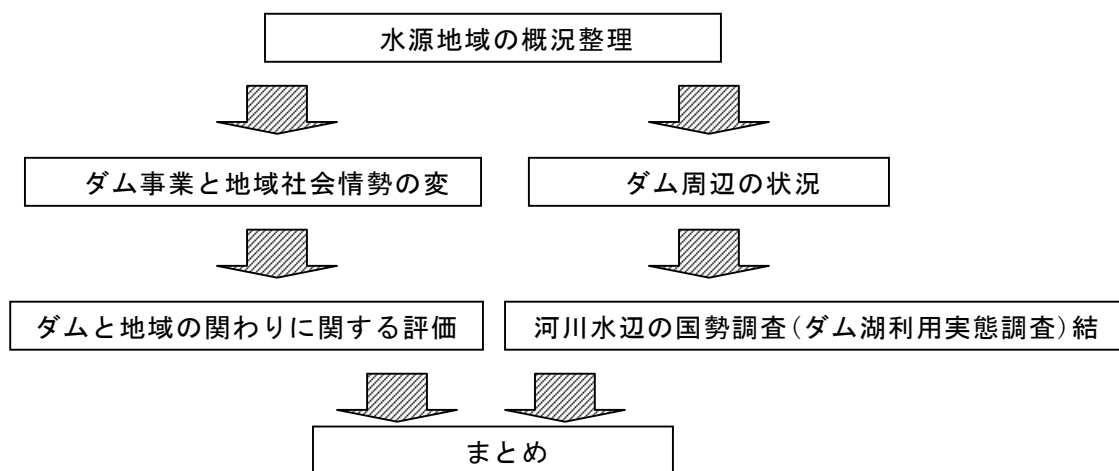


図 7.1-1 検討手順

7.1.3 必要資料の収集・整理

水源地域動態に係わる評価のため、ダム周辺の社会情勢、利用、整備状況等に関する資料等、以下の資料を収集整理した。

表 7.1.3-1 水源地域動態に使用した資料リスト

該当箇所	文献・資料名	発行者	発行年月日	引用ページ・箇所
7.2水源地域の概況	7.2.1 (3) 水源地域の人口動態	国勢調査		
	7.2.1 (4) 産業別就業者数	国勢調査		
	7.2.1 (5) 淀川下流域の人口の推移	大阪府、兵庫県ホームページ		
	7.2.2ダムの立地特性 (1) ダムへのアクセス	平成14年度水源地域 (高山ダム) ビジョン検討報告書	水資源協会	平成15年3月 3.参考資料
	図7.2.2-2高山ダム水源地域立地	平成14年度水源地域 (高山ダム) ビジョン検討報告書	水資源協会	平成15年3月 3.参考資料
	i. 交通機関別アクセス条件	平成14年度水源地域 (高山ダム) ビジョン検討報告書	水資源協会	平成15年3月 3.参考資料
	ii. 高山ダム周辺へのアクセス条件	平成14年度水源地域 (高山ダム) ビジョン検討報告書	水資源協会	平成15年3月 3.参考資料
	(2) ダム周辺の観光施設等	平成14年度水源地域 (高山ダム) ビジョン検討報告書	水資源協会	平成15年3月 2.関連条件の整理と分析
7.3ダム事業と地域社会情勢の変遷	表7.3-1ダム事業と地域社会の変化(年表)のイメージ	水源地自治体ホームページ	水源地自治体	
	表7.3-2直接的な影響	高山ダム工事誌	高山ダム建設所	昭和44年4月 7.2一般補償
	表7.3-3公共施設補償	高山ダム工事誌	高山ダム建設所	昭和44年4月 7.3公共補償
	図7.3-1道路改良付替え	高山ダム工事誌	高山ダム建設所	昭和44年4月 7.3公共補償
	図7.3-2観光入込み客数・消費額の推移	南山城村：京都府統計データ 月ヶ瀬村：奈良県環境客動態調査報告書 上野市：伊賀市提供資料		
7.4ダムと地域の関わりに関する評価	7.4.1地域におけるダムの位置づけに関する整理	平成15年度ダム等管理フォローアップ年次報告書	水資源協会	平成16年3月 7.1.1水源地域ビジョン
	7.4.2地域とダム管理者の関わり	平成15年度ダム等管理フォローアップ年次報告書	水資源協会	平成16年3月 //
	表7.4.2-1高山ダム水源地域ビジョン策定経緯	平成15年度ダム等管理フォローアップ年次報告書	水資源協会	平成16年3月 表7.1.1高山ダム水源地域ビジョン策定経緯
	表7.4.2-2高山ダム水源地域ビジョンの策定メンバー	平成15年度ダム等管理フォローアップ年次報告書	水資源協会	平成16年3月 表7.1.2高山ダム水源地域ビジョン策定組織メンバー
	表7.4.2-3高山ダム水源地域ビジョンの概要	平成15年度ダム等管理フォローアップ年次報告書	水資源協会	平成16年3月 表7.1.3高山ダム水源地域ビジョンの概要
	表7.4.2-4実行連絡会の実施状況	平成18～21年度高山ダム年次報告書	木津川ダム総合管理所	平成19年3月 平成20年3月 平成21年3月 平成22年3月 7.水源地域動態
	表7.4.2-5見学会等実施状況(平成18～20年度)	平成18～21年度高山ダム年次報告書	木津川ダム総合管理所	平成19年3月 平成20年3月 平成21年3月 平成22年3月 7.水源地域動態
7.5ダム周辺の状況	7.5.1 ダム周辺の観光入込み数	H19年度 全国観光動向	(社)日本観光協会	平成21年7月 図7.5.1-1 ダム周辺の観光入込み数
	表7.5.1-2高山ダム周辺の施設整備状況	平成14年度水源地域 (高山ダム) ビジョン検討報告書	水資源協会	平成15年3月 第2章3.参考資料
	ダム周辺環境整備事業の概要(整備地区)	高山ダム湖活用環境整備事業(パンフレット)	木津川上流工事事務所	
	7.5.2 ダム湖周辺施設の利用状況	・『統計なら平成19年版』 ・伊賀市提供の観光データ	奈良県三重県伊賀市	図7.5.1-6 周辺観光施設利用者数の推移
	7.5.3 ダム及び周辺のイベント等の開催状況	平成18～21年度高山ダム年次報告書	木津川ダム総合管理所	平成19年3月 平成20年3月 平成21年3月 平成22年3月 表7.5.3-1 高山ダム周辺のイベント等の開催状況
7.6河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果	(1) ダム湖利用実態調査	平成21年度高山ダム年次報告書	木津川ダム総合管理所	平成22年3月
7.7その他関連事項の整理	(1) 高山ダム水源地域の特性分布	平成14年度水源地域 (高山ダム) ビジョン検討報告書	水資源協会	平成15年3月 1.高山ダム水源地域の現状整理と特性分析 2.水源地域自治体が目指す方向性
	高山ダム水源地域の特性分布(まとめ)	平成14年度水源地域 (高山ダム) ビジョン検討報告書	水資源協会	平成15年3月 高山ダム水源地域の特性分布(まとめ)
	(2) 文化財等	平成14年度水源地域 (高山ダム) ビジョン検討報告書	水資源協会	平成15年3月 第2章3.参考資料
	(3) ダム湖周辺における不法投棄対策	平成15年度ダム等管理フォローアップ年次報告書	水資源協会	平成16年3月 1.5貯水池周辺及びダム上流域での出来事
		高山ダム停留船撤去について	木津川ダム総合管理所 高山ダム管理所	

7.2 水源地域の概況

7.2.1 水源地域の概要

(1) 自然

高山ダム流域は、伊賀と伊勢の国境である南部高見山脈の連峰（標高 1,249m）に発する比奈知、青蓮寺及び宇陀の三川からなり、流域面積は 615km²である。

ダムサイトの河床標高は約 80m、河川敷巾は約 50mである。ダムサイト両岸の山腹斜面は、ほぼ等しく約 40度の傾斜をなしている。ダム右岸には、標高 180m付近からゆるい起伏をもつ平坦な面が東方に広がっている。この平地面には、基盤の花崗岩を覆って第 4 紀洪積層（固結の進んだいわゆる山砂利層）が分布している。一方、ダム左岸は標高 200m前後から緩斜面にはなるが、右岸ほど著しい平坦面の形成は見られない。

地質的には中央構造線の北方、つまり西南日本内帯に属し、いわゆる領家地帯に属する。また、高山ダム流域の気候は内陸性で、年間降水量は名張地点で平均 1,400mm 程度である。

(2) 市町村合併等による水源地域市町村の動態

高山ダムの水源地域は、平成 16 年までは南山城村（京都府）、上野市（三重県）、名張市（三重県）等、12 市町村からなっていたが、市町村合併により 5 市 4 村（平成 21 年 3 月 31 日現在）となっている。

表 7.2.1-1 に市町村合併等の状況を整理した。

表 7.2.1-1 市町村合併等の状況

府県名	旧市町村名	新市町村名	備考
京都府	南山城村	南山城村	H21.3.31 現在変更なし
三重県	上野市	伊賀市	H16.11.1 上野市を含む 6 市町村が合併新設
	名張市	名張市	H21.3.31 現在変更なし
	美杉村	津市	H18.1.1 美杉村を含む 10 市町村が合併新設
奈良県	月ヶ瀬村	奈良市	H17.4.1 月ヶ瀬村、都祁村、奈良市が合併
	山添村	山添村	H21.3.31 現在変更なし
	大宇陀町	宇陀市	H18.1.1 左記 4 町村が合併新設
	菟田野町		
	榛原町		
	室生村		
	曾爾村	曾爾村	H21.3.31 現在変更なし
	御杖村	御杖村	H21.3.31 現在変更なし

(3) 水源地域の人口動態

高山ダム水源地域における旧 12 市村の人口動態は、表 7.2.1-2、図 7.2.1-1 のとおりである（昭和 35 年～平成 17 年の国勢調査による）。

昭和 45 年に増加に転じ、以降増加していたが、平成 17 年は平成 12 年に比べてやや減少している。人口増加は特に名張市において顕著である。

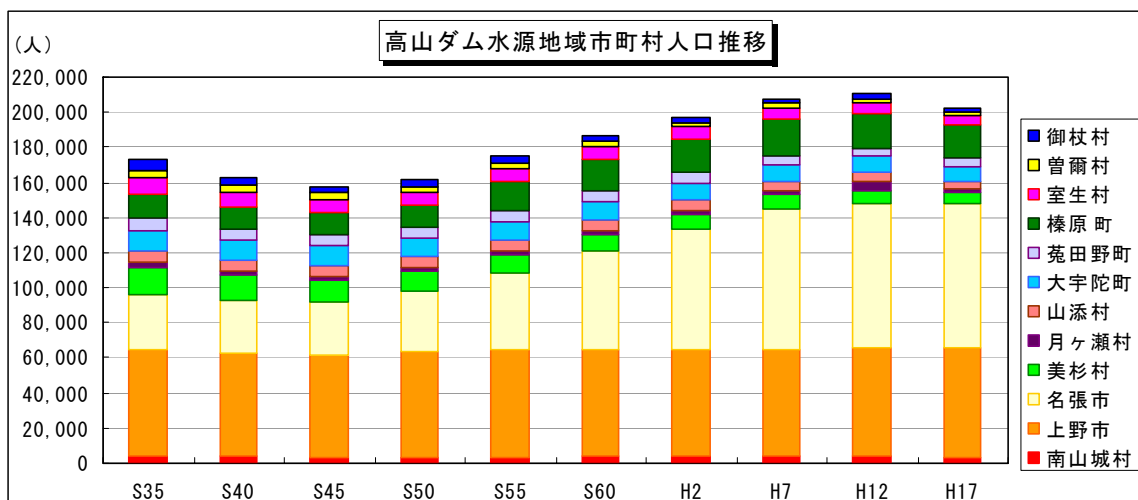
表 7.2.1-2 高山ダム水源地域市町村の人口推移

高山ダム水源地域人口(人)		S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17
京都府	南山城村	4,050	3,978	3,570	3,388	3,396	3,701	3,890	4,024	3,784	3,466
三重県	上野市	60,725	58,915	57,666	59,716	60,835	60,812	60,242	60,986	61,493	62,555
	名張市	30,904	30,084	30,862	34,929	44,488	56,474	68,933	79,913	83,291	82,156
	美杉村	16,043	14,103	12,470	11,408	10,495	9,630	8,835	8,015	7,158	6,392
奈良県	月ヶ瀬村	2,483	2,355	2,142	2,132	2,110	2,136	2,084	2,015	1,962	1,809
	山添村	6,807	6,416	5,978	5,885	5,822	5,933	5,773	5,420	4,967	4,595
	大宇陀町	11,584	11,221	10,930	10,829	10,638	10,541	10,032	9,712	9,104	8,225
	菟田野町	7,330	6,392	6,344	6,032	5,849	5,683	5,477	5,284	4,914	4,623
	榛原町	13,093	12,873	12,950	12,846	17,210	18,512	19,358	20,230	19,438	18,549
	室生村	9,721	8,426	7,739	7,562	7,404	7,138	6,869	6,809	6,306	5,786
	菅爾村	4,433	3,512	3,189	3,144	3,083	2,975	2,743	2,645	2,472	2,193
	御杖村	5,533	4,159	3,852	3,593	3,430	3,287	3,035	2,840	2,623	2,366

※1：上記人口は、流域人口でなく流域に含まれる市町村の各自治体の総人口である。（出典：国勢調査）

※2：H17 上野市は伊賀市のうち、旧上野市地区の人口

※3：H17 月ヶ瀬村は奈良市のうち、旧月ヶ瀬村地区の人口



※1：上記人口は、流域人口でなく流域に含まれる市町村の各自治体の総人口である。（出典：国勢調査）

※2：H17 上野市は伊賀市のうち、旧上野市地区の人口

※3：H17 月ヶ瀬村は奈良市のうち、旧月ヶ瀬村地区の人口

図 7.2.1-1 高山ダム水源地域市町村の人口推移

なお、国勢調査は 5 年に一度の実施であるため、参考までに平成 22 年の人口を下に示した。

平成 22 年の人口（市町村別）

京都府

- ・ 南山城村 3,523 人（H22.8.31 現在）。

三重県

- ・ 上野市は平成 16 年 11 月 11 日に伊賀市に合体。
- ・ 名張市 82,790 人（H22.4.1 現在）。
- ・ 美杉村は平成 18 年 1 月 1 日に津市に合体。

奈良県

- ・ 月ヶ瀬村は平成 17 年 4 月 1 日に奈良市に編入。
- ・ 山添村 4,345 人 (H22. 4. 1 現在)。
- ・ 大宇陀町、菟田野町、榛原町、室生町は平成 18 年 1 月 1 日に合体して、宇陀市となった。人口は 35,992 人 (H22. 4. 1 現在)。
- ・ 曾爾村 1,883 人 (H22. 9. 1 現在)。
- ・ 御杖村 2,240 人 (H22. 4. 1 現在)。

(4) 産業別就業者数

高山ダム水源地域市町村における産業別就業者数の推移は、図 7.2.1-2、図 7.2.1-3 に示すとおりである。

市町村合併により平成 17 年のデータが未整備である市町村が多いが、おおむね第三次産業が多くなる傾向にあり、逆に第一次産業は減少傾向となっている。

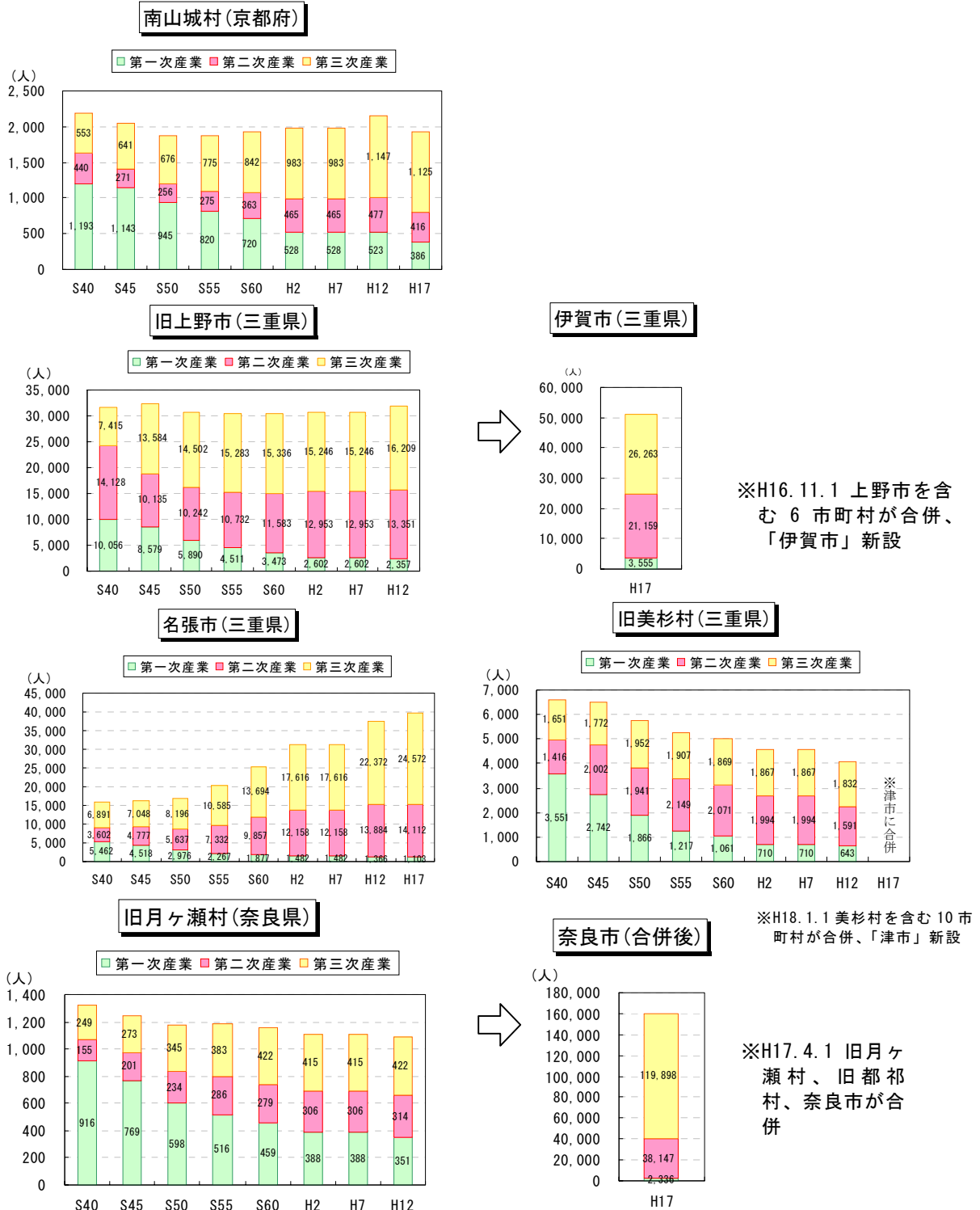
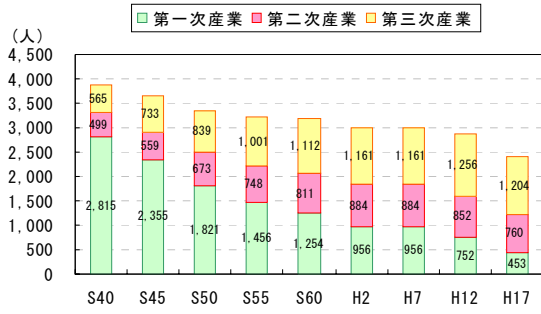
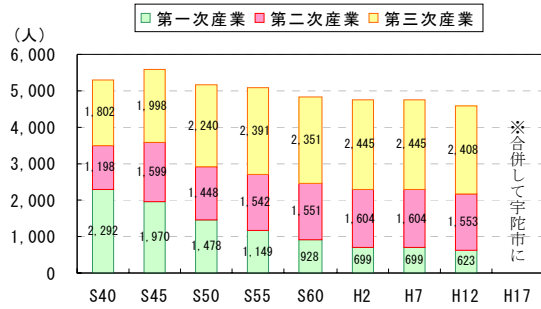


図 7.2.1-2(1) 高山ダム流域市町村の産業就業者人口の推移(1) (出典：国勢調査)

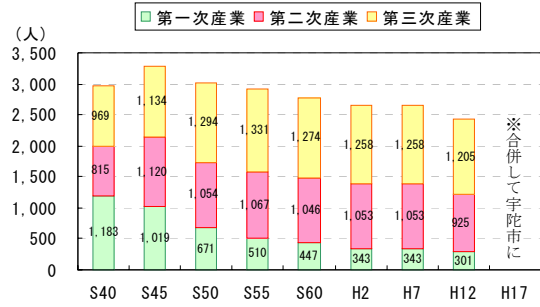
山添村(奈良県)



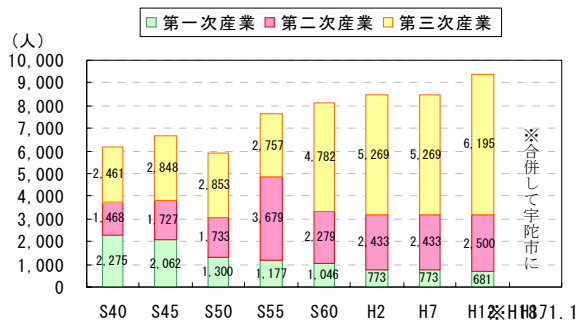
旧大宇陀町(奈良県)



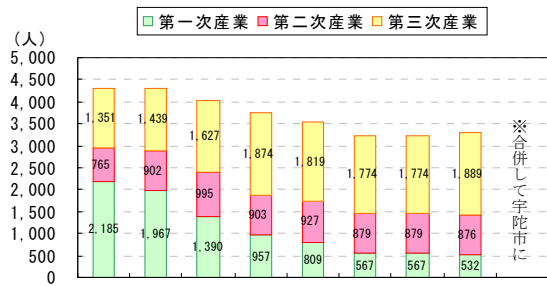
旧菟田野町(奈良県)



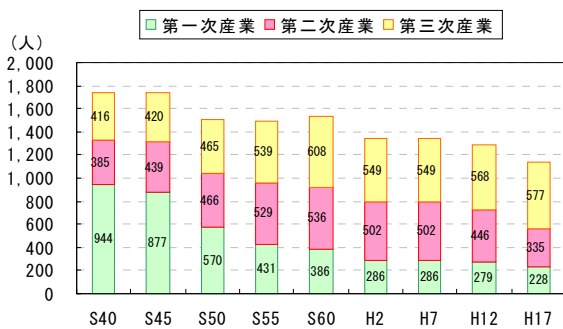
旧榛原町(奈良県)



旧室生村(奈良県)



曾爾村(奈良県)



御杖村(奈良県)

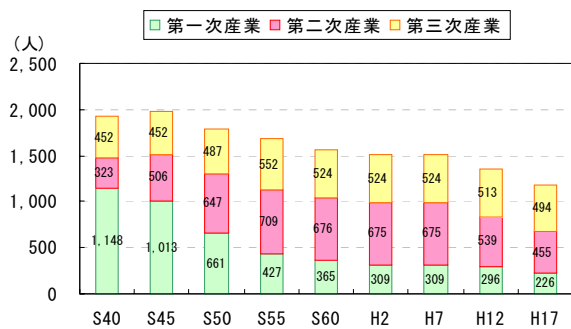
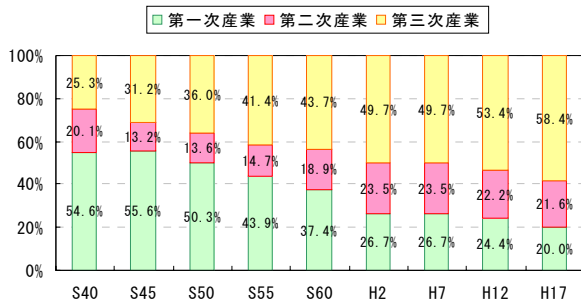
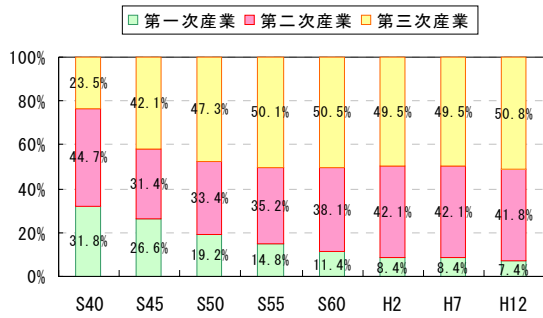


図 7.2.1-2(2) 高山ダム流域市町村の産業就業者人口の推移(2) (出典：国勢調査)

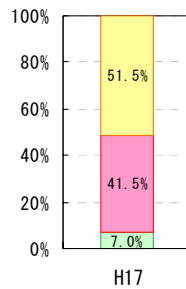
南山城村(京都府)



旧上野市(三重県)

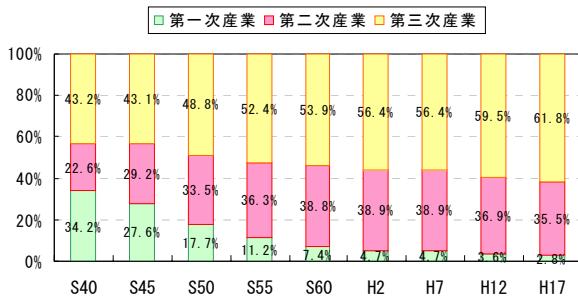


伊賀市(三重県)

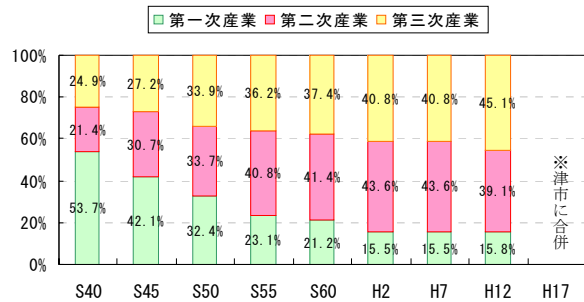


※H16.11.1 上野市を含む 6 市町村が合併、「伊賀市」新設

名張市(三重県)

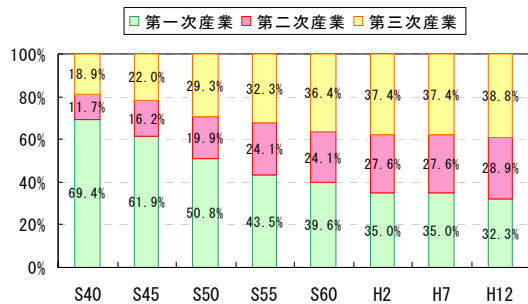


旧美杉村(三重県)

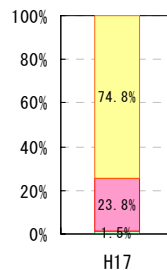


※津市に合併

旧月ヶ瀬村(奈良県)



奈良市(合併後)

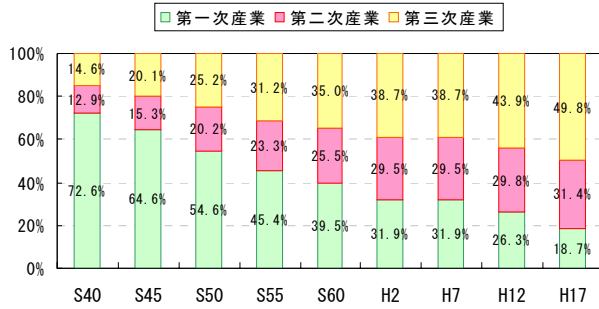


※H18.1.1 美杉村を含む 10 市町村が合併、「津市」新設

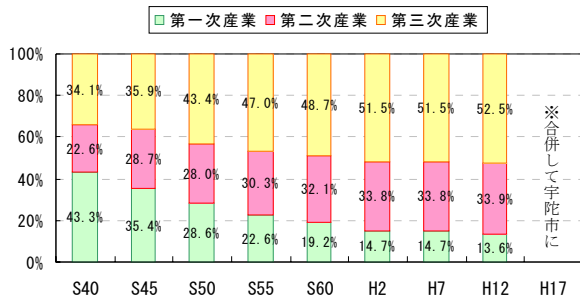
※H17.4.1 旧月ヶ瀬村、旧都祁村、奈良市が合併

図 7.2.1-3(1) 高山ダム流域市町村の産業就業者比率の推移(1) (出典：国勢調査)

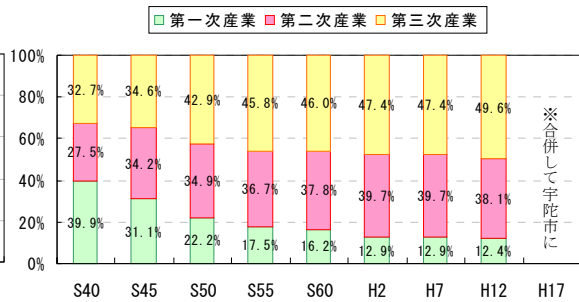
山添村(奈良県)



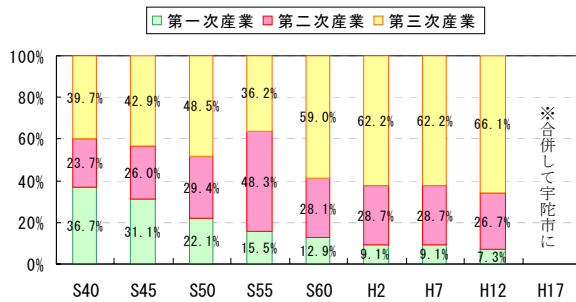
旧大宇陀町(奈良県)



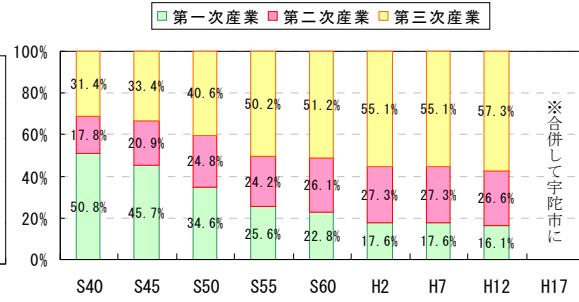
旧菟田野町(奈良県)



旧榛原町(奈良県)

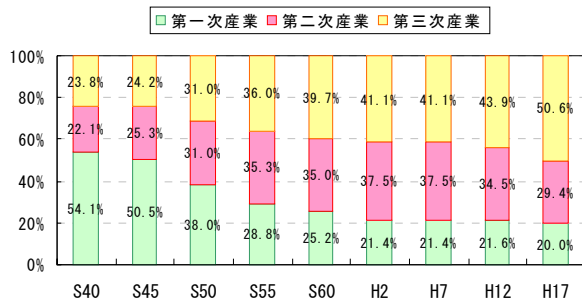


旧室生村(奈良県)



※H18.1.1 旧大宇陀町、旧菟田野町、旧榛原町、旧室生村が合併、「宇陀市」新設

曾爾村(奈良県)



御杖村(奈良県)

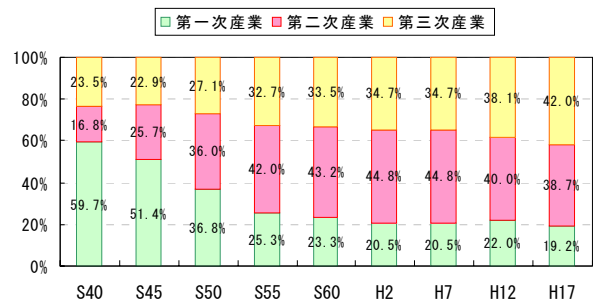


図 7.2.1-3(2) 高山ダム流域市町村の産業就業者比率の推移(2) (出典：国勢調査)

(5) 淀川下流域の人口の推移

淀川流域の人口は、昭和 40 年から 50 年までの 10 年間で約 170 万人の増加、平成 2 年以降はほぼ横ばいの状態となっている。

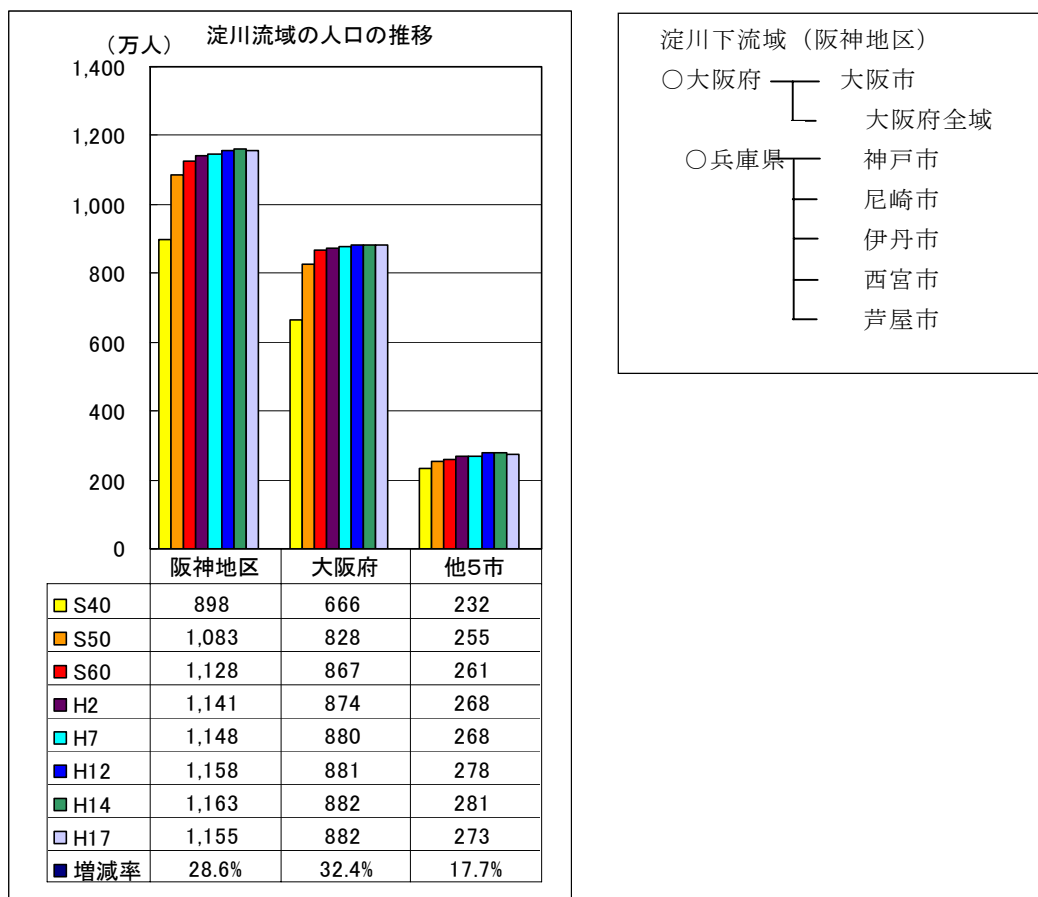


図 7.2.1-4 淀川下流域の人口の推移

出典：大阪府ホームページ、兵庫県ホームページ

(6) 土地利用と産業

高山ダム水源地域では、名張市や伊賀市旧上野市地区を除いて、南山城村、奈良市旧月ヶ瀬村地区、山添村で約 80%が山林で占められ地形も急峻で平地は少ない。

南山城村、奈良市旧月ヶ瀬村地区、山添村に共通する産物として、茶やシイタケがある。茶は地質・気候に恵まれていることもあって、良質煎茶の生産地として知られており、シイタケ栽培は山林に恵まれていることもあり、近年生産量が増加している。

伊賀市旧上野市地区では昔からの水稻に加え、最近ではイチゴ等のハウス栽培やブドウ等の果樹園芸が行われている。

また、伝統産業として月ヶ瀬村では奈良晒製織、伊賀市旧上野市地区では伝統工芸品に指定されている伊賀組紐、良質土で焼かれた伊賀焼、士族の内職から発達した伊賀傘などの生産が行われている。

7.2.2 ダムの立地特性

(1) ダムへのアクセス

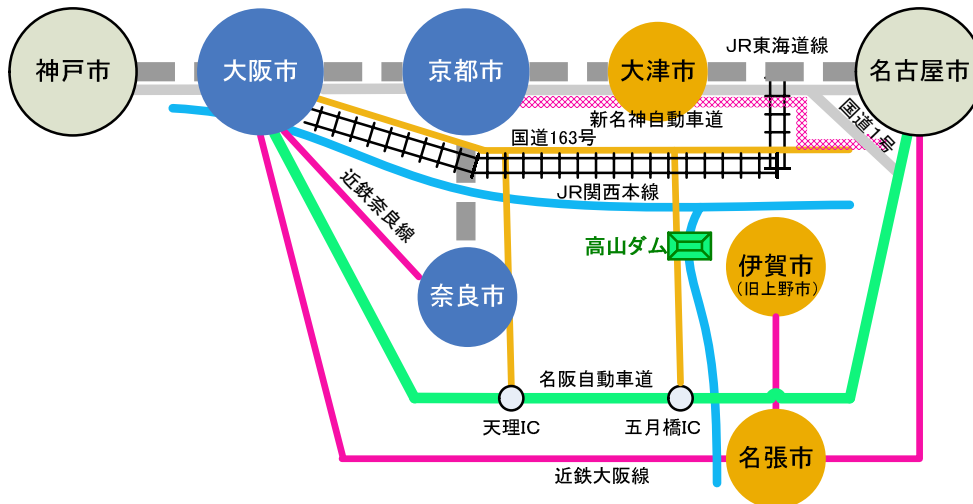


図7.2.2-1 周辺都市からの交通網

- 高山ダム水源地域には、奈良県内で最大の都市である奈良市をはじめ、三重県第7位の人口を持つ伊賀市、同8位の名張市が立地している。
- 高山ダム水源地域には、広域幹線である名阪国道、国道25号及び新名神高速道路が東西方向に縦走し、大阪及び名古屋方面からのアクセス利便性に優れている。
- 流域内には国道163号、県道上野南山城線が南北方向に縦走して流域内のアクセス条件は整っている。
- 高山ダムの北方約2kmを東西方向にJR関西本線が通過しており、鉄道を利用した高山ダムへのアクセスも可能である。
- 高山ダムの貯水池左岸側に県道上野南山城線が縦走しているため、堤体や貯水池周辺施設等へ容易にアクセスできる。

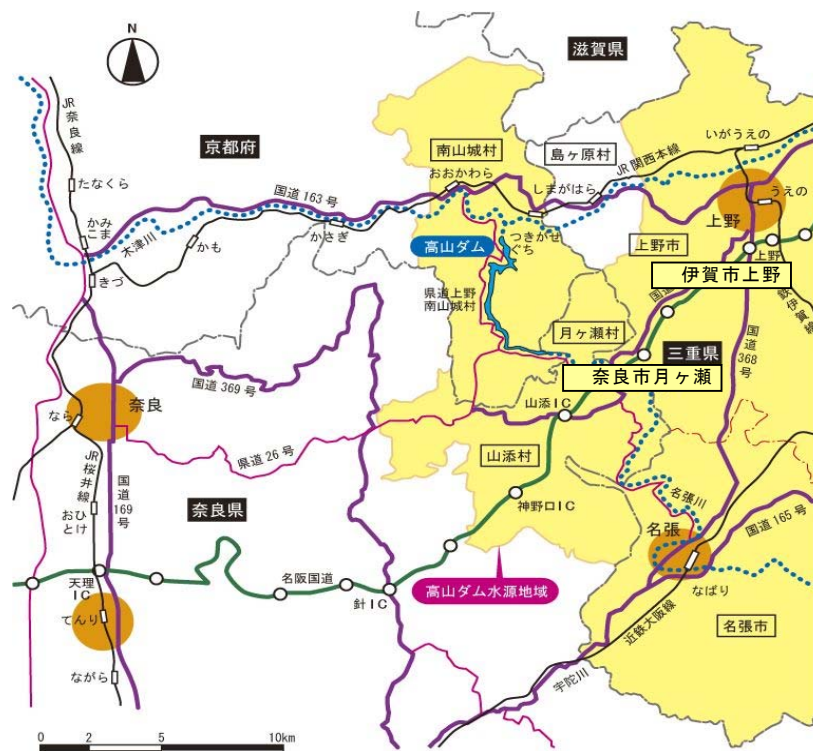


図7.2.2-2 高山ダム水源地域立地

a) 交通機関別アクセス条件

【道 路】

○広域幹線道路

高山ダム水源地域のほぼ中央には、大阪と名古屋を結ぶ名阪国道及び国道 25 号が東西方向に通っており、大阪都市圏及び名古屋都市圏からはそれぞれ約 1 時間半で到達することができる。

○地域内幹線道路

高山ダム堤体の下流約 2km には木津川に沿って国道 163 号が東西方向に通過しており、高山ダム貯水池左岸を通る県道上野南山城線（82 号）と交差している。また、高山ダム堤体の南方約 20 km には国道 165 号が東西方向に通過しており、名阪国道と国道 165 号、国道 163 号が地域内における東西方向の軸を形成している。

これらの東西軸を結ぶように高山ダムの東方約 10km に国道 368 号が南北に通っているほか、高山ダム貯水池の左岸側を通り、名張市に至る県道が地域内の南北軸を形成している。

以上の道路網によって、高山ダム水源地域は、交通利便性は比較的よく、近隣市町村からのアクセスが容易であるといえる。

【鉄 道】

J R 関西本線が高山ダムの北方約 2 km を東西に通っており、高山ダム及びダム湖へは、月ヶ瀬口駅から徒歩約 30 分で到達できる。また、高山ダム貯水池上流端の南方約 10km を近鉄大阪線が通っており、名張駅から自動車で約 30 分で到達できる。

b) 高山ダム周辺へのアクセス条件

高山ダム周辺へのアプローチは、木津川の下流側から、名張川の上流側から、奈良市方面からの 3 方向がある。

木津川の下流側からのアプローチは、国道 163 号から県道上野南山城線を通りダム堤体左岸側に至るルートで、国道 163 号の分岐から自動車約 10 分で堤体に到達できる。

名張川の上流側からのアプローチは、名阪国道の五月橋 IC もしくは国道 25 号から、県道笠置山添線及び上野南山城線を経て、貯水池左岸側の末端部にアクセスするルートで、五月橋 IC から自動車約 20 分で堤体に到達できる。

また、奈良市方面からのアプローチは、名阪国道を利用するか、国道 369 号、県道 25 号等を通り、貯水池上流の左岸側にアクセスできるルートがある。

(2) ダム周辺の観光施設等

高山ダム周辺には図 7.2.2-3 に示したような観光資源がある。



出典：高山ダム管理所 HP

図 7.2.2-3 高山ダム周辺の観光施設

7.3 ダム事業と地域社会情勢の変遷

高山ダム事業に関わる地域社会の情勢と変化を下表に示す。

高山ダム水源地では、近年ダム湖を利用したイベント（月ヶ瀬レガッタ、高山ダムクォーターマラソン）等が多く行われるようになってきている。

表 7.3-1 ダム事業と地域社会の変化(年表)のイメージ

年代	高山ダム事業と インフラ整備事業	地域社会の変化(新規産業活動、住民活動、交流活動)				
		南山城村	月ヶ瀬村 ↓ 奈良市月ヶ瀬 (H17年～)	山添村	上野市 ↓ 伊賀市伊賀上野 (H16年～)	名張市
明治22年			月ヶ瀬村誕生			
昭和16年					上野市誕生	
28年		南山城村誕生				
29年						名張市誕生
30年						名張小学校開校
31年				山添村誕生		
32年	高山ダム建設説明会開催					
34年						消防本部開庁
35年						新町橋復旧
36年				役場庁舎完成		
37年	高山ダム工事事務所設置					火葬場完成
38年				山添分校校舎完成		
39年			役場庁舎完成			
40年	本体工事着手 名阪国道開通	水没移転家屋 43戸 水没面積 11,896a	水没移転家屋 74戸 水没面積 6,918a	水没移転家屋 4戸 水没面積 1,761a	水没移転家屋 67戸 水没面積 3,348a	上水道給水開始
41年	コンクリート打設開始	附帯工事 4,548a	附帯工事 1,006a		附帯工事 100a	
42年	国道25号線付替 主要地方道奈良津線付替	村内小学校プール完成				
43年	本体コンクリート打設完了					
44年	竣工式・管理開始	大河原小学校体育館完成	「月ヶ瀬村」に改名			
45年		高山ダム広場で第1回花火大会				
46年		～ 山辺広域市町村圏指定 ～				
47年		大河原地区簡易水道完成 南山城少年自然の家「グリーン バル南山城」		山辺広域圏事業によるゴミ取 集開始		
48年	国道165号全線開通	高山郵便庁舎竣工				青蓮寺湖
49年				山辺広域消防組合山添署業 務開始		老人福祉センター完成 特別養護老人ホーム完成
51年		今山地区簡易水道完成				青蓮寺観光農園
52年		田山地区簡易水道完成				名張自然休養村ロマンの森
54年		南山城村高尾公民館竣工		自然休養村管理センター完 成	ゆめドームうえの	香落溪温泉
55年		高尾地区簡易水道完成			岩倉溪ふれ愛公園	勤労者福祉会館開館
57年			茶オーナ	山添村ふるさとセンター		名張公民館完成
58年				総合スポーツセンター完成	だんじり会館	
60年				基幹集落センター完成		保険センター完成
62年		レイクフォレストリゾート		山添中学校開校		
63年			松原市少年自然の家「クレア 月ヶ瀬」	し尿処理センター稼働		
平成3年		南山城村文化会館オープン(や まなみホール)	梅の里 月ヶ瀬温泉			
4年		南山城村図書室オープン	湖畔の里 つきがせ			郷土資料室オープン
5年		高尾小学校体育館竣工	梅の里ふれあい館	歴史・民俗資料館開館		赤目四十八滝キャンプ場
7年	地域坊さん無線局開設		ロマンヒア月ヶ瀬オープン			
8年	フォローアップ調査	総合グランド改修		「茶の里映山紅」		
9年	比奈知バイパス開通		月ヶ瀬オフロードラン			市立病院完成
10年	剣道名張奈良線開通	中央簡易水道完成	福祉センター			
12年	国道368号上野バイパス開通	村民体育祭 中学校駅伝競技大会				
13年	水源地域ビジョン	高山ダムクォーターマラソン	月ヶ瀬レガッタ大会			
14年	管理所耐震改良工事 非常用洪水吐ゲート開閉後 管理省	保険福祉センターオープン イベントの開催、環境学習の実施、環境保全活動の継続と充実、地域の地域住民による交流会設立、ゴミ不法投棄に係わる組織設立、観光ガイドの育 成、水源地域PR		やまぞえ小学校開校		
15年				国営総合農地開発事業「大 和高原北部地区」完工		
16年				カントリーパーク大川オープ ン	周辺町村と合併し伊賀市伊 賀上野となる	
17年			奈良市に編入合併され奈良 市月ヶ瀬となる			
18年		むら活生きまったり 中学校駅伝競技大会	月ヶ瀬レガッタ大会			
19年	新名神高速道路開通	村民体育祭 中学校駅伝競技大会	月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会 月ヶ瀬レガッタ大会	大和高原民俗資料館開館	第2貝高山ダム湖環境フォー ラム	
20年	一般農道「豊原地区」開通	むら活生きまったり 村民体育祭	月ヶ瀬レガッタ大会			
21年		中学校駅伝競技大会	月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会			

凡例
 市町村誕生、合併等
 高山ダム建設に伴う直接的な変化
 イベント、住民活動、交流活動
 交流施設、地域振興拠点等の開設

表 7.3-2 直接的な影響

一般補償	土地		295.82ha
		山林	245.45ha
		農地	41.77ha
		宅地	8.50ha
		その他	0.05ha
建物	家屋移転	196戸	
公共補償	付替道路19.0km(国道1.88km、府県道11.33km、市道5.80km)		
特殊補償	漁業権		4件
	鉱業権		1件
	月ヶ瀬梅林		1件

(世帯)

移転種別	南山城村	月ヶ瀬村	山添村	上野市	合計
水没による移転	43	74	4	67	188
付帯工事		7		1	8
計	43	81	4	68	196

表 7.3-3 公共施設補償 (件)

	学校	官公庁等	神社	プール
南山城村		5	5	2
月ヶ瀬村		9	9	3
山添村				1
上野市	1	3		1
計	1	17	14	7

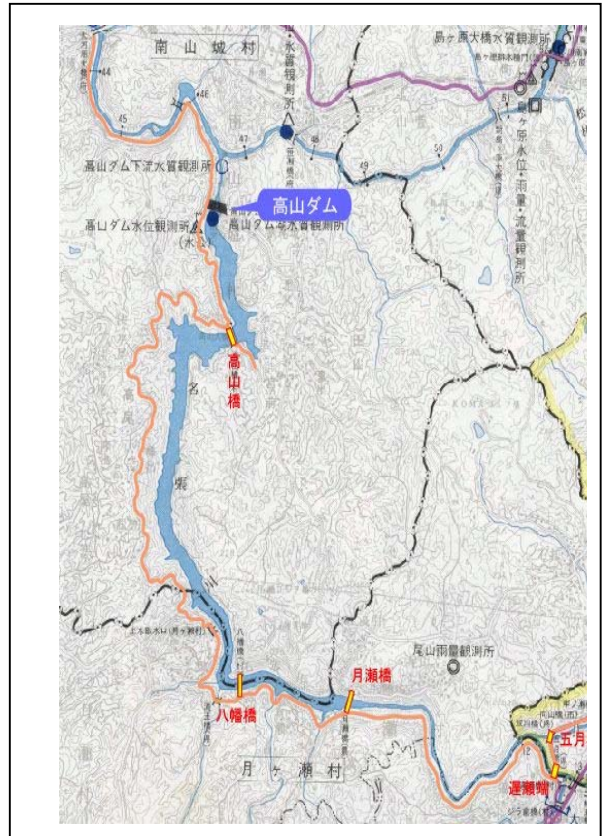
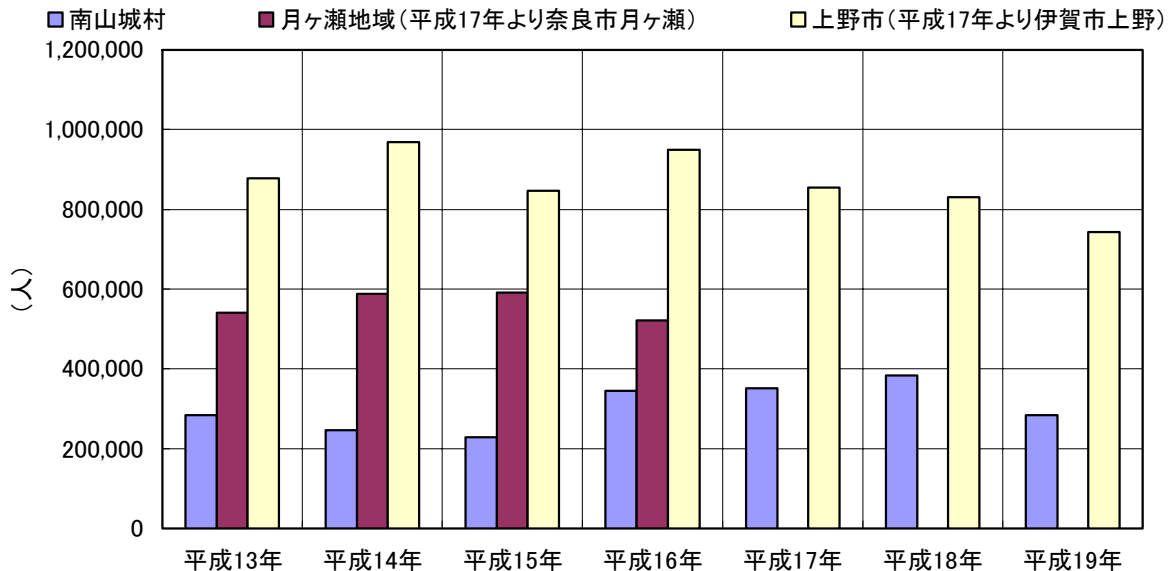


図 7.3-1 道路改良付替え



※南山城村の値は、京都府統計データより。(http://info.pref.kyoto.lg.jp/stat/TopMenuPage.aspx)

※月ヶ瀬地域の値は、「奈良県観光客動態調査報告書 (H19年1月から12月)」より。

※旧上野市の値は、伊賀市提供の観光データより、上野城、伊賀流忍者博物館、だんじり博物館、上野天神秋祭り、忍者フェスタ、サンピア伊賀の施設利用者数を抽出し合計。

図 7.3-2 観光入込み客数の推移

7.4 ダムと地域の関わりに関する評価

7.4.1 地域におけるダムの位置づけに関する整理

高山ダムでは、水源地域ビジョンの基本的な事項を定めた「水源地域ビジョン策定要綱」（平成13年4月12日、国土交通省）に沿って、地元住民や関係機関等が共同して「高山ダム水源地域ビジョン」を検討し、策定した。

「高山ダム水源地域ビジョン」は、“高山ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のための行動計画”として、高山ダム水源地域の活性化に向けた基本方針を定め、基本方針の実現のための具体的な方策を、ソフト対策に重点を置いて検討、策定したものである。

具体的施策の策定にあたっての基本的な取り組み内容と考え方を以下に示す。

1) 水辺環境の保全・向上

現在の水環境を将来に渡って適切に維持・継承していくために、ダムや河川管理者だけでなく、地域の自治体や住民等が協力、連携しながら、ダム湖や周辺河川での水質保全対策を中心に、現存する水辺環境の適切な保全・向上を推進する。

2) 既存資源の有効利用

高山ダム周辺地域の地場産業を活用するとともに、地域にある既存の施設等を結ぶ様々なネットワークを形成するなどによって、高山ダム水源地域にある既存資源の有効利用を図る。

3) 貯水池周辺施設の充実

高山ダム周辺地域の観光レクリエーション拠点としての機能を向上させるために、貯水池周辺施設や湖面利用に係わる施設等の充実を図る。

4) 交流活動の促進

高山ダム水源地域の持つ地域資源を有効に活かしつつ、情報の発信・共有化を推進するとともに、イベントの開催などの取り組みを進めることによって、地域内外での交流を促進する。

5) 地域活動の活性化

地域住民が主体的、かつ、永続的に、地域活性化に向けた様々な取り組みや活動を行っていただけるように、関係機関による積極的な支援を行いつつ、現在行われている地域活動の継続・充実と、新たな地域活動に向けた取り組みの推進を図る。

7.4.2 地域とダム管理者の関わり

高山ダム水源地域ビジョンの検討・策定は、以下に示す関係諸機関によって構成される「高山ダム水源地域ビジョン策定会議」によって行った。なお、同組織は緩やかな組織として規約等を設けずにビジョンの検討、策定にあたった。

- ・学識経験者・・・・・・・・・・・・・大学教授
- ・水源地域自治体・・・・・・・・・・・・・南山城村、月ヶ瀬村、山添村、上野市、名張市
- ・ダム管理者等・・・・・・・・・・・・・水資源開発公団(現独立行政法人水資源機構)、
関西電力株式会社
- ・水源地域の住民団体等・・・・・・・・・・・・・木津川漁業協同組合、波多野漁業協同組合、
月ヶ瀬村漁業協同組合、五月川漁業協同組合、
豊里漁業協同組合、木津川を美しくする会、
南山城村地域づくり研究会
- ・関係行政機関・・・・・・・・・・・・・国土交通省、京都府、三重県、奈良県

また、具体の検討作業は、下部組織である「高山ダム水源地域ビジョン策定連絡会」において行った。

高山ダム水源地域ビジョンの検討、策定は表 7.4.2-1 に示すように、策定連絡会 3 回(10月17日、11月20日、平成15年2月5日)、策定会議1回(平成15年2月26日)を開催し、各々の審議・検討項目に沿って検討を進め、平成15年2月26日の策定会議において「高山ダム水源地域ビジョン」を策定した。

策定組織メンバーを表 7.4.2-2 に、策定した「高山ダム水源地域ビジョン」の概要を表 7.4.2-3 に示す。

表 7.4.2-1 高山ダム水源地域ビジョン策定経緯

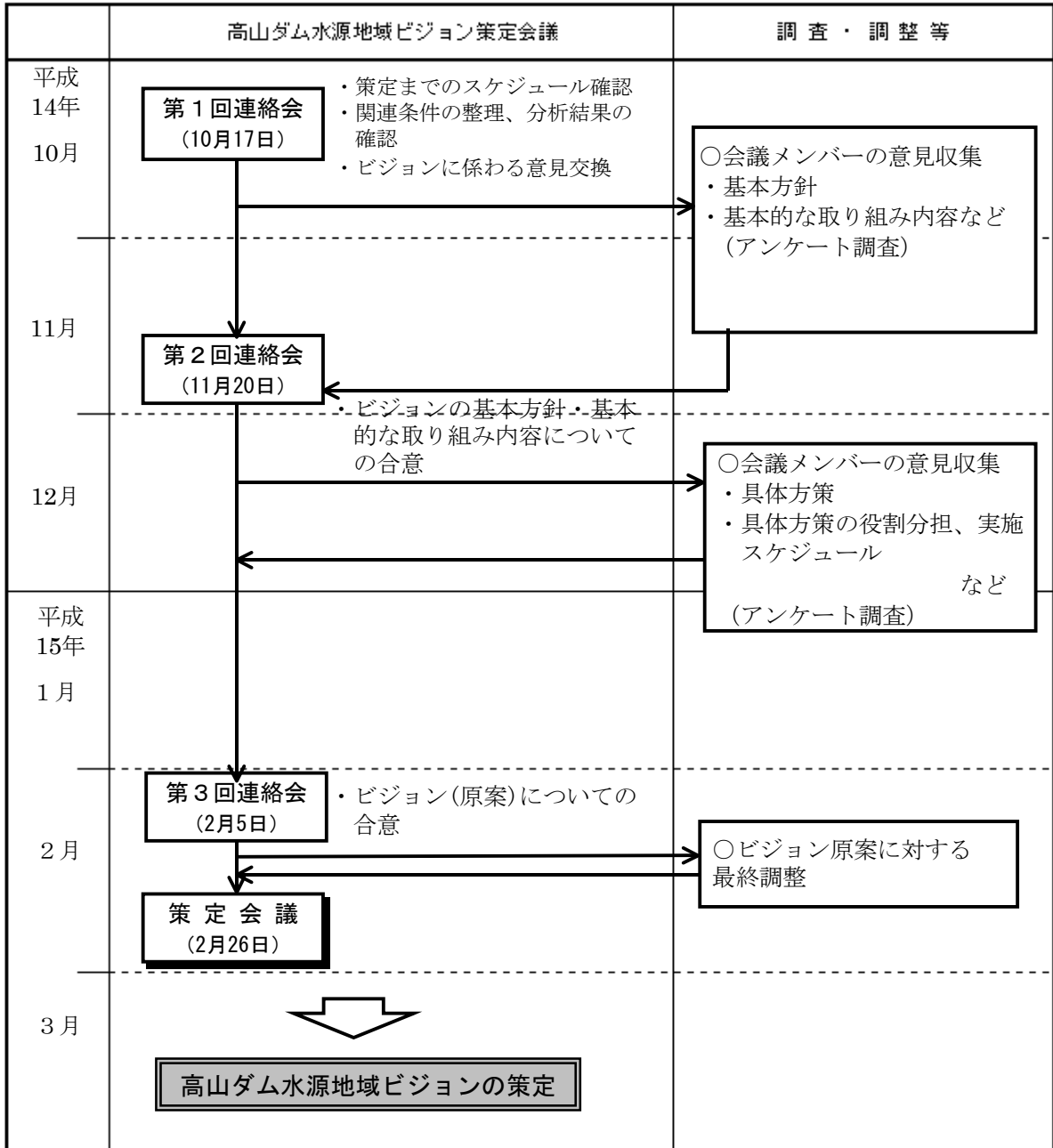
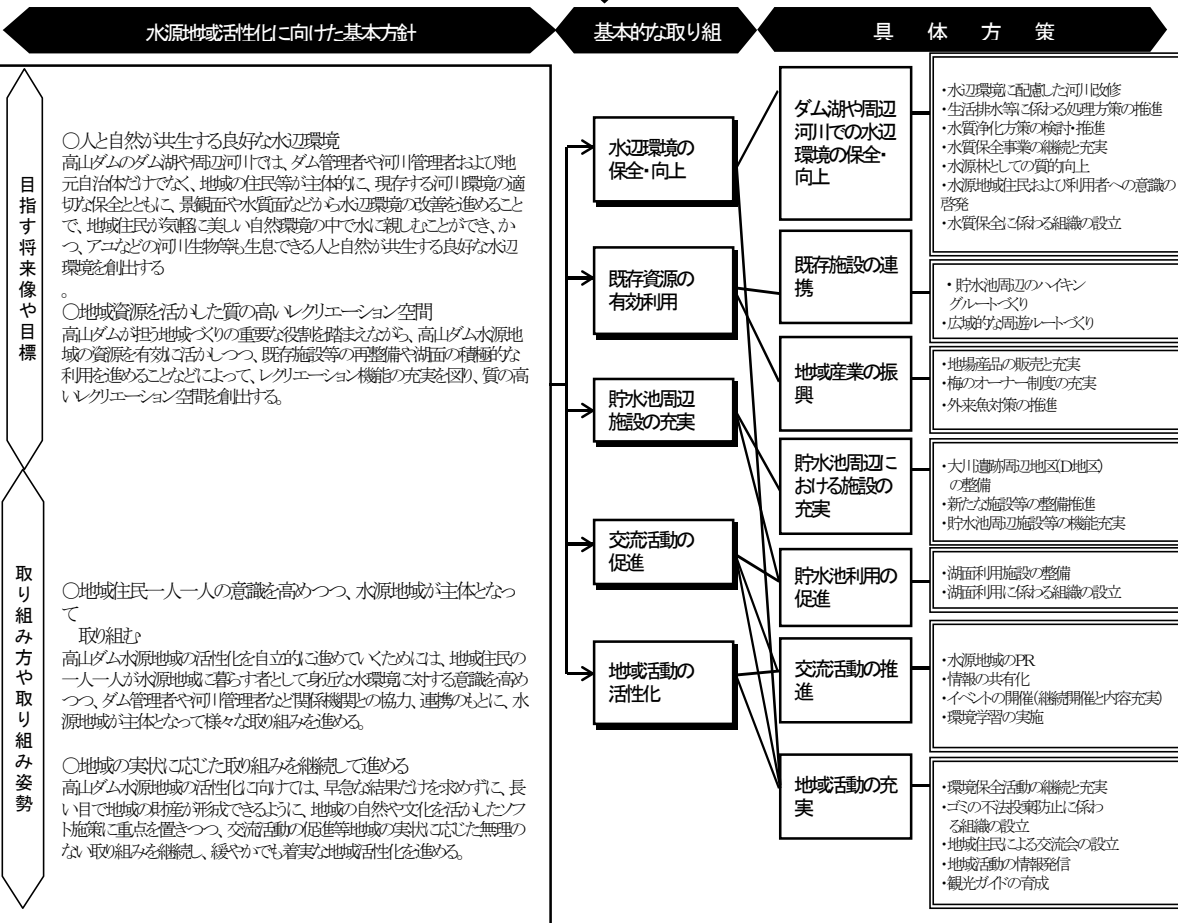


表 7.4.2-2 高山ダム水源地域ビジョンの策定組織メンバー

	策 定 会 議	策 定 連 絡 会
学識経験者	大学教授	大学教授
水源地域自治体		
南山城村	村長	企画財政課長
月ヶ瀬村	村長	産業課長
山添村	村長	企画財政課長
上野市	市長	土木部道路河川課長
名張市	市長	企画調整部企画調整課長
水源地域住民団体等		
木津川漁業協同組合	—	代表理事組合長
波多野漁業協同組合	—	組合長
月ヶ瀬村漁業協同組合	—	組合長
五月川漁業協同組合	—	組合長
豊里漁業協同組合	—	組合長
木津川を美しくする会	—	会長
南山城村地域づくり研究会	—	会長
ダム管理者等		
水資源開発公団 (現独立行政法人 水資源機構)	関西支社 支社長	関西支社 管理部長
		関西支社 管理部施設課長
	木津川ダム総合管理所長	管理課長
		高山ダム管理所長
関西電力(株)奈良支店	支店長	支店長室長
関係行政機関 (オブザーバー)		
国土交通省 近畿地方整備局	河川部河川管理課長	河川管理課ダム管理係長
	木津川上流工事事務所長	調査課長
	淀川ダム統合管理事務所長	広域水管理課長
京都府	企画環境部長	企画参事付課長補佐
三重県	地域振興部長	県土利用・水資源・地域圏推進チーム
奈良県	企画部資源調整課長	水資源グループ主幹

表 7.4.2-3 高山ダム水源地域ビジョンの概要

《高山ダム水源地域の特定》		《水源地域自治体の目指す方向性と高山ダムの位置づけ等》	
水源地域全体	<ul style="list-style-type: none"> ・3府県にまたがる水源地域 ・集客力のある観光資源 ・高いアクセス利便性 ・地域を特徴づける地場産品 	<p>活性化に向けた課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水源地域内に立地する観光施設間の連携が不十分 	<p>○水源地域自治体の目指す地域整備の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南山城村の目指す地域整備 <ul style="list-style-type: none"> ・むらづくりの目標：「自然が薫り、人が輝く 元気村！みなみやましろ」 ○月ヶ瀬村の目指す地域整備 <ul style="list-style-type: none"> ・村づくりの目標：「いきいきしたうるおいの里づくり」 ○山添村の目指す地域整備 <ul style="list-style-type: none"> ・むらづくりのキャッチフレーズ：「いいいいいいいいき山添」 ○上野市の目指す地域整備 <ul style="list-style-type: none"> ・街づくりの目標（将来像）：「ときを伝え、ときを拓く、創造と交流の都市」 ○名張市の目指す地域整備 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのテーマ：「人と自然がきらめくしか生活文化都市 名張」 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土庁が南山城村を対象に、交流と連携をテーマにした活性化のあり方について検討しており、具体策が提起されている。
高山ダム周辺地域	<ul style="list-style-type: none"> ・月ヶ瀬梅林との一体的な利活用を図ることが可能 ・地域内幹線道路からの比較的高いアクセスが可能 ・治水・利水面で広範囲の地域に貢献 ・豊かな自然環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な造成を伴う施設整備による利活用には適さない ・貯水池周辺施設の相互連携が図りにくい ・貯水池周辺施設の管理主体が区域によって異なっている ・貯水池の直接的な利用が図りにくい ・高山ダム・ダム湖と地域住民との日常的なかわり合いが薄い 	<p>○高山ダムの位置づけ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○南山城村における高山ダムの位置づけ等 <ul style="list-style-type: none"> ・高山ダム及び周辺地域の豊かな自然資源との共生とその活用を基本とし、自然環境の保全とともに水面や水辺におけるレクリエーション空間としての活用の推進や自然体験学習等を軸にした自然、歴史、民族、文化資源を観光レクリエーション資源として活用し、広域的な交流活動、観光レクリエーションの振興に結びつけるために、村内の既存施設を活用して多様なレクリエーション拠点の形成を推進するとともに、それらの拠点を結ぶネットワークの整備を目指す。 ○月ヶ瀬村における高山ダムの位置づけ等 <ul style="list-style-type: none"> ・「景観保全活用ゾーン」として良好な景観や湖面を利用した観光レクリエーション機能の導入が検討されている。具体的には、ボートや遊覧船、魚釣りによる湖面利用の推進やダム周辺でのイベントの充実、宿泊・研修施設の整備誘導によって滞在型のレクリエーション基地の形成などの具体施策が示されている。



■実行連絡会の実施状況

表 7.4.2-4、図 7.4.2-1 に高山ダム水源地域ビジョン実行連絡会の状況を示す。

表 7.4.2-4 実行連絡会の実施状況

年度	日時	内容
平成 18 年度	10 月 20 日	各団体の平成 17 年度の取り組み等の報告及び 18 年度のイベント等実施予定。水源地域ビジョン策定経過及び連絡会について。その他意見交換。
平成 19 年度	7 月 26 日	各団体の平成 18 年度の取り組み等の報告及び 19 年度のイベント等実施予定。水源地域ビジョン策定経過及び連絡会について。その他意見交換。
平成 20 年度	7 月 25 日	各団体の平成 19 年度の取り組み等の報告及び 20 年度のイベント等実施予定。水源地域ビジョン策定経過及び連絡会について。その他意見交換。
平成 21 年度	7 月 23 日	各団体の平成 20 年度の取り組み等の報告及び 21 年度のイベント等実施予定。水源地域ビジョン策定経過及び連絡会について。その他意見交換。



図 7.4.2-1 実行連絡会開催状況 (H21.7.23)

■管理者の地域に向けた活動等

高山ダム管理所では、地域に対しダム見学会等を開催し、ダムの働きや仕組みについて知ってもらう活動を行った。

平成18年度～平成21年度の見学会等実施状況一覧は、表7.4.2-5に示すとおりである。

表 7.4.2-5 見学会等実施状況（平成18～21年度）

年	開催日	団体名・参加人数等	活動内容	備考	
平成18年	4月30日	東大阪第9団カブ隊不特定	17名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	5月31日	高山ダム放流連絡会幹事会	10名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	7月25日	木津川を美しくする会	38名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	8月23日	淀川水系ダム水源地ネットワーク	27名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	淀川水系ダム水源地ネットワーク幹事会主催
	10月19日	大阪府大阪狭山市立南第三小学校	41名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	12月12日	大阪府水道局職員	6名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	水資源機構関西支社主催
平成19年	5月21日	中華人民共和国利水関係者	17名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	6月5日	東海・近畿農政局	9名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	6月5日	琵琶湖淀川治水担当者会議	15名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	9月3日	淀川流域委員会	20名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	9月13日	相楽広域事務組合	25名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	10月12日	尾張市水道職員	20名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	10月19日	JICA研修生	15名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	10月30日	中学生(埼玉県)	4名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	
	11月23日	村活き活きまつり(不特定)	87名	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。	主催：南山城村
平成20年	5月9日	宇治田原小学校	59名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	5月16日	川西小学校	66名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	5月23日	インドネシア共和国 JICA	41名	ダムサイトで概要説明	
	5月29日	相楽小学校	64名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	7月25日	豊中ボーイスカウト	26名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	8月22日	十三ボーイスカウト	17名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	8月26日	筑後川・矢部川水道水源開発協議会	9名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	9月5日	淀川河川事務所	6名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	10月18日	子供エコクラブ	10名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	10月29日	近畿日本ツーリスト	49名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	10月31日	国交省 木津川上流	5名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	12月2日	地域安全協議会	17名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	12月5日	大阪府水道部	5名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
平成21年	6月9日	京田辺私立松井ヶ丘小学校	136名	ダムサイトで概要説明	
	7月9日	高山ダム放流連絡会	10名	操作室と堤体内の見学	
	8月7日	奈良市若草散策会	22名	堤体内の見学	
	8月10日	南山城村と奈良市の小学生	17名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	8月19日	天理教菊水分教会	24名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	10月1日	大和郡山市教育委員会主催見学会	17名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	
	11月13日	久御山町民児童委員協議会	27名	パソコン等を利用した概要説明 堤体内の見学	



高山ダム見学会（平成18年4月30日）

7.5 ダム周辺の状況

7.5.1 ダム周辺環境整備事業の状況

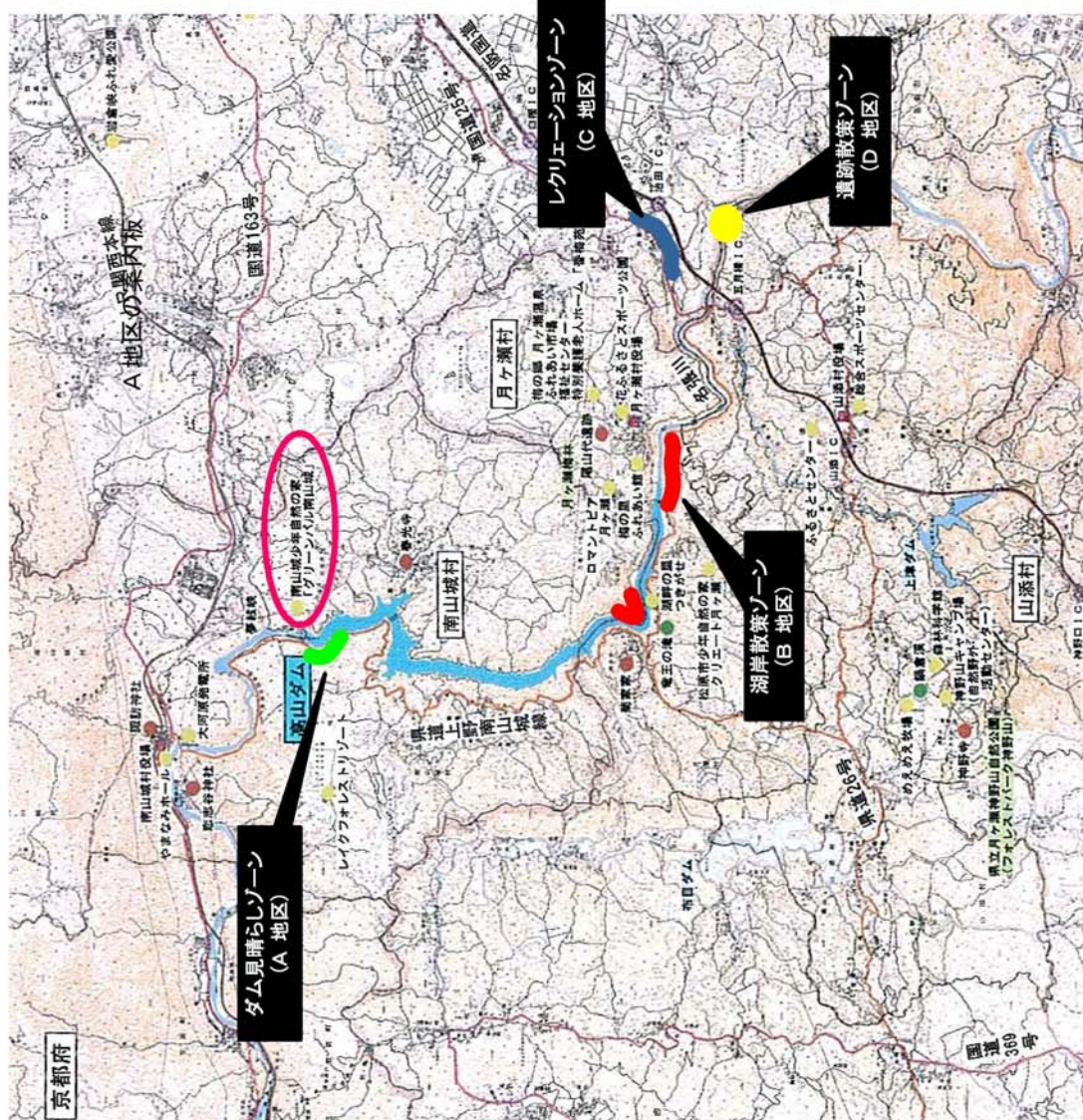
高山ダム周辺は奈良県立月ヶ瀬・神野山自然公園に指定された地域であり、景勝地で、湖水と緑豊かな四季折々の自然景観の変化が楽しめる地域である。

また、周辺には伊賀上野（伊賀地域）、信楽の里（甲賀地域）、柳生の里（奈良地域）などの観光地が多く、大阪、京都、奈良及び名古屋などを結ぶ広域交通網も整備されていることから、多くの人々がダム湖を訪れている。



図 7.5.1-1 ダム周辺の観光入込み数

出典：H19年度 全国観光動向



A地区の案内板



右岸側展望台



湖畔の里つきがせ



貯水池展望台

図 7.5.1-2 ダム周辺の施設整備状況



夢絃峡(南山城村)



レイクフォレストリゾート(南山城村)



梅の郷 月ヶ瀬温泉(奈良市(旧月ヶ瀬村))



ロマンТПシア月ヶ瀬(奈良市(旧月ヶ瀬村))



月ヶ瀬梅林(奈良市(旧月ヶ瀬村))



鍋倉溪(山添村)



上野公園(伊賀市(旧上野市))



観阿弥ふるさと公園(名張市)

図 7.5.1-3 ダム周辺の観光資源

下表に、ダム湖周辺地域(南山城村、月ヶ瀬村、山添村、上野市、名張市)の観光・レクリエーション、文化施設等の整備内容を示す。なお、水源地域ビジョンにより新たに整備された施設はない。

表 7.5.1-1(1) 高山ダム周辺の施設整備状況(1)

市町村名	施設等名称	施設概要
南山城村	諏訪神社	・田山地区の氏神である。水の神で、雨乞い祈願が行われる。
	夢絃峡	・木津川と山々のコントラストが美しく、昔から景勝地として知られている。
	やまなみホール	・世界的な建築家、黒川紀章氏が南山城村の山並をイメージして設計した文化ホール。毎年7月には「やまなみ国際音楽祭」が開催されている。
	レイク フォレストリゾート	・人と自然のふれあいを目的とした宿泊、スポーツ、リゾート施設。
	大河原発電所	・大正ロマンが薫るレンガ造りの発電所。春には桜が満開となる。
	恋志谷神社	・後醍醐天皇のお妃が祀られ、恋愛成就、子授けなど女性の守り神。
	春光寺	・真言宗智山派に属する。平安時代初期の作と言われる薬師如来立像が有名。
	不動の滝	・村内の滝の中でも最も大きいもので、落差は約20mある。村の北部、童仙房高原にある。
	南山城少年自然の家 「グリーンパル南山城」	・自然に親しむことを目的とした集団宿泊型の施設。
	童仙房高原	・南山城村北部に位置し、東西8km、南北6kmに広がる高原。標高500mにあり、爽快な気候である。
奈良市 (旧月ヶ瀬村)	梅の郷 月ヶ瀬温泉	・露天風呂をはじめ、大・小の内風呂を備えた温泉施設。神経痛や筋肉痛等に効果的がある。
	ふれあい市場	・特産品や地元農家が栽培した野菜などを販売している。
	湖畔の里 つきがせ	・村内の特産品の直売や地域食材による郷土料理をたのしめる施設。
	ロマントピア月ヶ瀬	・茶の加工、地域の伝統食品づくり等の体験コーナーの他、手織りのぬくもりが伝わる奈良晒伝承教室も開かれる施設。
	松原市少年自然の家 「クリエート月ヶ瀬」	・緑豊かな自然の中にあり、宿泊、研修から、キャンプ、アスレチック、テニス等まで楽しめる施設。
	竜王の滝	・桃香野の滝谷川の上流にあり、落差は10m以上。真夏でも涼気があふれている。
	菊家家	・昭和43年に国の重要文化財に指定された、江戸時代中期の入母茅葺きの民家。
	梅の里ふれあい館	・奈良晒織機等が展示され、昔の生活や文化を学習できる。特産品直売コーナーや和室休憩所が完備されている。
	福祉センター	・平成10年にオープンした、在宅福祉サービスの充実と住民の健康増進を目的とした保健福祉施設。
	尾山代遺跡	・奈良時代前半から平安時代にかけての集落跡。竪穴式住居、掘立て柱建物などがある。
	花ふるさとスポーツ公園	・1969年に完成したスポーツ施設。
	月ヶ瀬梅林	・1万本以上の梅林で、大正11年に名勝地に指定された。 (名勝指定第1号)

表 7.5.1-1(2) 高山ダム周辺の施設整備状況(2)

市町村名	施設等名称	施設概要
山添村	県立 月ヶ瀬神野山自然公園	・昭和50年に指定された奈良県立自然公園。月ヶ瀬梅林と神野山のツツジ等を中心にした公園。
	鍋倉溪	・奈良県の天然記念物に指定されており、溶岩が流れ出したような景観を形成している。
	神野寺	・740年に僧行基によって建立されたと伝えられる。子孫繁栄、商売繁盛の祈願者が訪れる。
	大川遺跡	・名張川沿いの河岸で発見された縄文時代の遺跡で、瓦器や住居址が発掘されている。対岸には聖石である磨崖仏がある。
	神野山キャンプ場（自然 野外活動センター）	・ロッジやテントでのキャンプの他、日帰りでのバーベキューもできる。
	森林科学館	・自然と生き物の関わりを楽しみながら学習できる施設。
	めえめえ牧場	・広大な芝生広場に50頭以上の羊が放牧されている。
	山添村ふるさとセンター	・特産物販売所、保健福祉センターなどの複合施設。
	総合スポーツセンター	・グラウンド、テニスコート、ゲートボール場、体育館などを完備している。
伊賀市 （旧上野市）	ゆめドームうえの	・見本市や各種スポーツ大会、式典などが行える多目的ホール。
	上野森林公園	・多数の草や木、鳥、昆虫などとふれあえる公園。
	城之越遺跡	・古墳時代前期に有力者が祭祀を執り行ったと言われる遺跡。
	芭蕉の森公園	・俳句や自然と親しむ施設として、俳句の庭、俳句の森などがある。
	岩倉峡ふれ愛公園	・木津川の渓谷にあり、水と森に親しめる。園内には吊り橋やキャンプ場、遊具がある。
	上野公園	・園内には上野城、俳聖殿、忍者屋敷などの名所・旧跡がある。4月には桜も見られる。
	俳聖殿	・昭和17年に芭蕉生誕300年を記念して建設された聖堂。
	忍者博物館	・忍者屋敷や忍者体験館などがある。
	だんじり会館	・三基のだんじりと鬼行列が常設展示されている。
名張市	青蓮寺湖	・青蓮寺川に建設された青蓮寺ダムのダム湖。テニス、パードウォッチング、ブラックバス釣りなどができる。
	夏見廃寺跡	・7世紀末から8世紀前半に天武天皇の娘が建立したとされる古代寺院跡。
	名張藤堂家邸跡	・1636年から明治維新まで、名張に居を構えた藤堂宮内家の屋敷跡。
	青蓮寺観光農園	・ぶどう、いちご狩りが体験できる。
	名張自然休養村 ロマンの森	・青蓮寺湖畔にある収容定員350名のキャンプ場で、バンカロー、テントなどが整備されている。
	香落溪温泉	・青蓮寺湖畔にあり、慢性リウマチ、神経痛などに効果がある。
	観阿弥ふるさと公園	・「観阿弥創座之地」の記念碑が祀られており、毎年11月第1日曜日に観阿弥まつりが開催される。
	美旗古墳群	・昭和53年に国の史跡に指定された、伊賀地方最大規模の古墳群。

(1) ダム周辺環境整備事業の概要

1) ダム周辺環境整備事業の目的

高山ダムは完成が昭和 44 年と古いダムであり、ダム事業として周辺で特別の環境整備は実施していない。

ダム周辺には月ヶ瀬梅林をはじめとして、多くの観光施設があり、今後も多くの人々がダムを訪れることが見込まれるため、ダム貯水池周辺の環境を整備し、自然環境と調和を図るとともに、水と緑のオープンスペースの有効活用によって、快適なレクリエーションと憩いの場を提供することを目的に周辺整備に係る事業が行われた。

2) ダム周辺環境整備事業の基本方針

実施された整備事業は、当地域の特性から、「人と自然・歴史とのふれあい」を重視し、自然公園としての基本となる休息、展望、散策、レクリエーション、教育などの機能を有するダム公園とし、周辺地域の諸事業計画との整合を図り、地域の中で高山ダムのイメージが向上するよう配慮するものとされた。

◆ダム周辺環境整備事業の概要（整備地区）

「ダム周辺環境整備事業（S61年度～平成7年度）」は、ダム貯水池周辺の4地区において実施された。



◆ダム周辺環境整備事業施設の管理

事業が完了した平成8年3月に、国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所、水資源機構及び各施設が位置する自治体とが、施設管理に関する基本協定を締結し、現在、関係する1市3村が各施設の維持・管理を行っている。

なお、各自治体は、地元住民等が組織する自治会、管理組合などに維持管理を委託している。

- | | |
|------------------|----------------|
| A 地区：ダム見晴らしゾーン | 京都府相楽郡南山城村 |
| B 地区：湖岸散策ゾーン | 奈良県奈良市（旧 月ヶ瀬村） |
| C 地区：レクリエーションゾーン | 三重県伊賀市（旧 上野市） |
| D 地区：遺跡散策ゾーン | 奈良県山辺郡山添村 |

◆ダム周辺環境整備状況（A地区：ダム見晴らしゾーン）

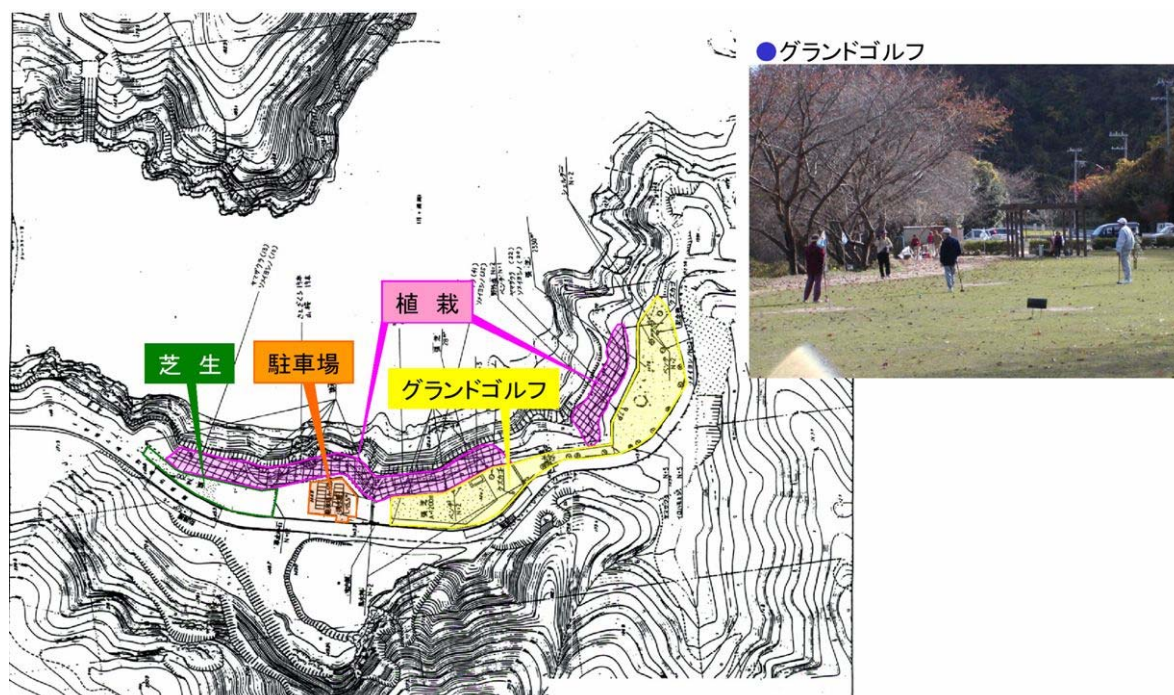


図 7.5.1-5 ダム周辺環境整備状況図（A地区）

1) 整備方針

平坦地で四季を通じて利用でき、アクセス性も良好なこと、ダムサイトにも近く景観的な配慮が重要なことなどから、花(ヤマザクラ)等を配した修景広場が整備された。

2) 整備状況

○植栽

山 桜	115 本	・・・	S62～H4
ソメイヨシノ	68 本	・・・	S62, H7
さとざくら	19 本	・・・	H2
も み じ	21 本	・・・	H3～H5

○主な施設

花見広場（芝生：4,258m ² ）	・・・	H4～H6
駐車場（500m ² 13台）	・・・	H5
グランドゴルフ場	・・・	H5

3) 利用状況

当地区にあるグランドゴルフ場では、地元住民等が主催する大会が開催されており、年間 約 15,000 人が利用している。

また、桜の開花時期には花見を目的に多くの人々が訪れている。

(2) ダム周辺環境整備状況 (B地区：湖岸散策ゾーン)

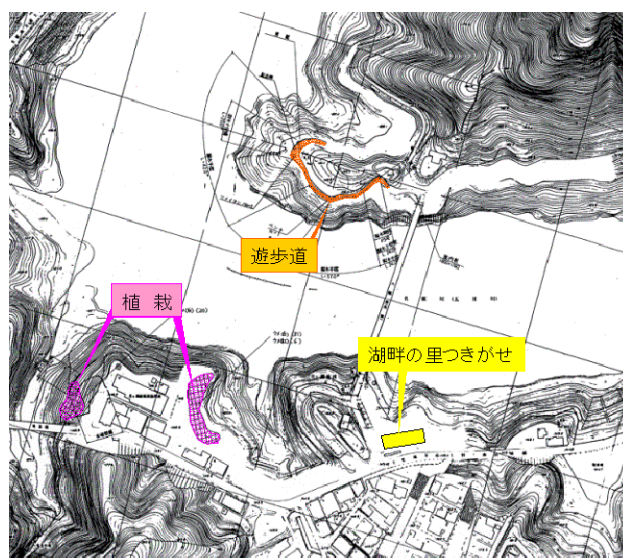


図 7.5.1-6 ダム周辺環境整備状況図 (B地区)

1) 整備方針

月ヶ瀬の梅溪として有名な場所で、沿道には多くの梅の木が植えられ花見を楽しむ人が多いため、「花と緑と水の里」にふさわしい景観をより一層高めることを目的に、貯水池斜面にサクラ、ウメなどが植樹された。

2) 整備状況

○植栽

山	桜	126本	・・・	S62
	ウメ(白)	222本	・・・	S62
	ウメ(紅)	100本	・・・	S62
	ソメイヨシノ	3本	・・・	H7
	ヤマモミジ	95本	・・・	S62
	ユキヤナギ	130本	・・・	S62

○主な施設

散策路(約160m)・・・H3, H4

○その他自治体の整備

湖畔の里つきがせ(物販施設)・・・H10

3) 利用状況

当地区は国の文化財に指定されている月ヶ瀬梅林内に位置し、シーズン中には近隣の月ヶ瀬梅林、月ヶ瀬温泉等と合わせて年間約51万人の観光客が訪れている。

また、貯水池内への進入路があり、釣り客に利用されている。

当地区内には物販施設もあり、多くの人立ち寄っている。

(3) ダム周辺環境整備状況 (C地区：レクリエーションゾーン)

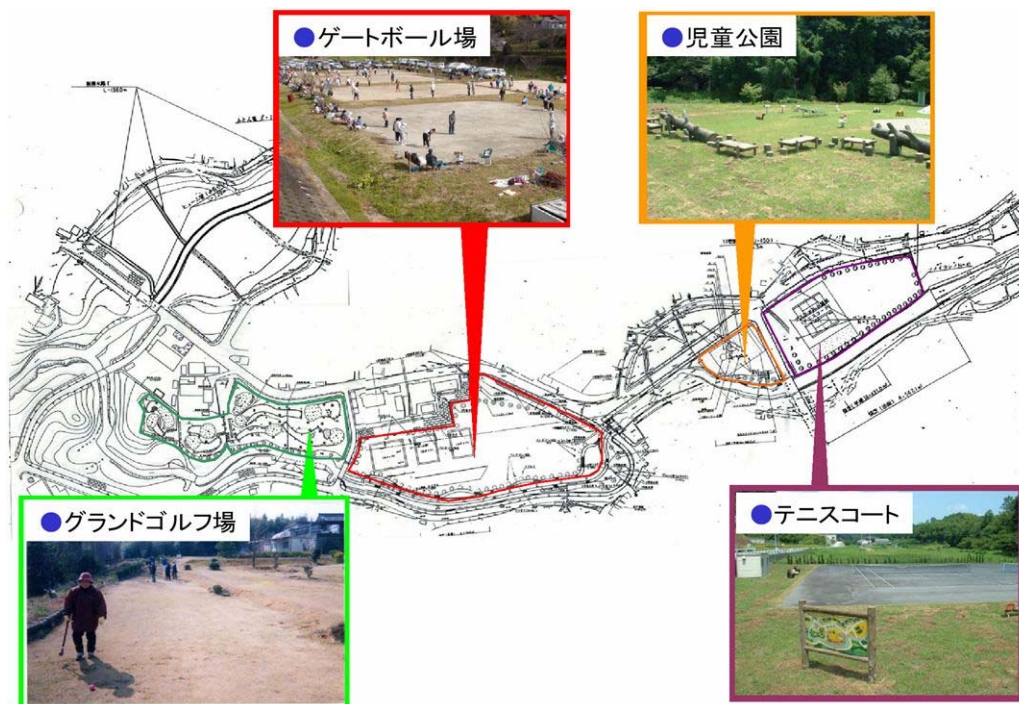


図 7.5.1-7 ダム周辺環境整備状況図 (C地区)

1) 整備方針

主として周辺住民の野外活動ゾーンとして位置付けられ、子供から老人まで多くの人が多目的なレクリエーションを楽しむことができるような施設が整備されている。

2) 整備状況

○植栽

山	桜	50本	・・・	H5
	ソメイヨシノ	91本	・・・	H7
	サツキツツジ	30本	・・・	H7
	マメツゲ	20本	・・・	H7
	サザンカ	9本	・・・	H7

○主な施設

ゲートボール場	5面	・・・	H6
テニスコート	2面	・・・	H6
グランドゴルフ	9ホール	・・・	H7
児童公園	1ヶ所	・・・	H5～H7
簡易便所	1ヶ所	・・・	H5

3) 利用状況

当地区にあるゲートボール場では、地元住民が主催する多くの大会が開催されており、年間約1,200人が利用している。また、その他の施設（グランドゴルフ場、児童公園、テニスコート）も地元住民を中心に、年間約1,500人の人が利用している。

(4) ダム周辺環境整備状況（D地区：遺跡散策ゾーン）

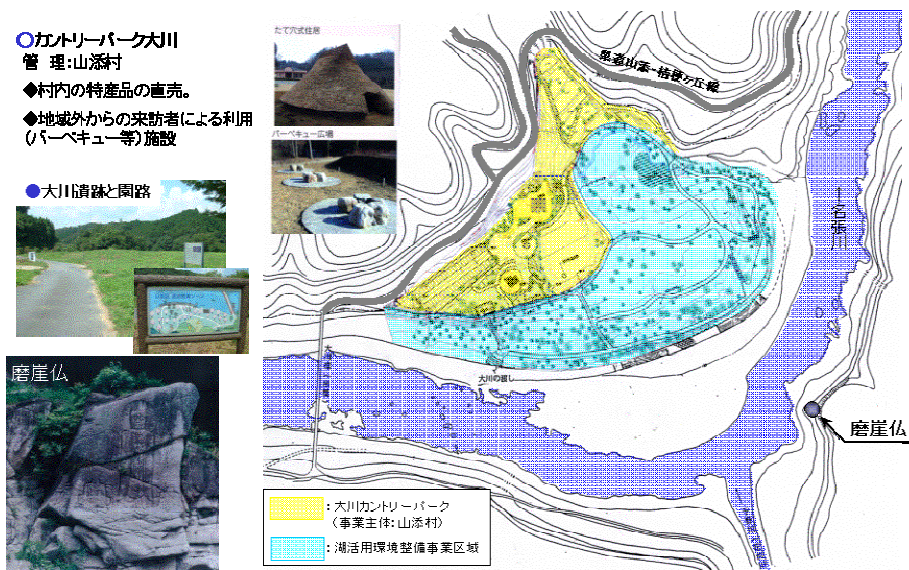


図 7.5.1-8 ダム周辺環境整備状況図（D地区）

1) 整備方針

当地区は大川遺跡が埋蔵されているところであり、この貴重な歴史的財産を保護するとともに、十分に活用するために、竪穴式住居の復元などの整備が行われた。

また、整備地区の対岸には露出した岩肌には磨崖仏があるため、祈りの場を考慮した計画とした。

2) 整備状況

○植栽

サクラ 253 本・・・H6, H7

○主な施設

散策路 約 660m ……S63

渡し場 1 式 ……S63

○その他自治体による整備

大川カントリーパーク・・・H15（事業主体：山添村）

3) 利用状況

当地区は、名張川河岸で瓦器や住居址が発掘され、縄文時代の大川遺跡があり、これらを巡る散策路が利用されている。

また、隣接する「カントリーパーク大川（事業主体：山添村）」が H16 年 4 月にオープンし、これまで、多くの人々がバーベキュー、魚釣り等を目的に訪れている。

7.5.2 ダム周辺施設の利用状況

高山ダム周辺の主要な観光施設の利用者数は、以下のとおりであった。

月ヶ瀬温泉の平成13年、平成19年の利用者数が不明であるが、近年の利用者状況は各施設において大きく増減することはなく、ほぼ横ばいの状況である。

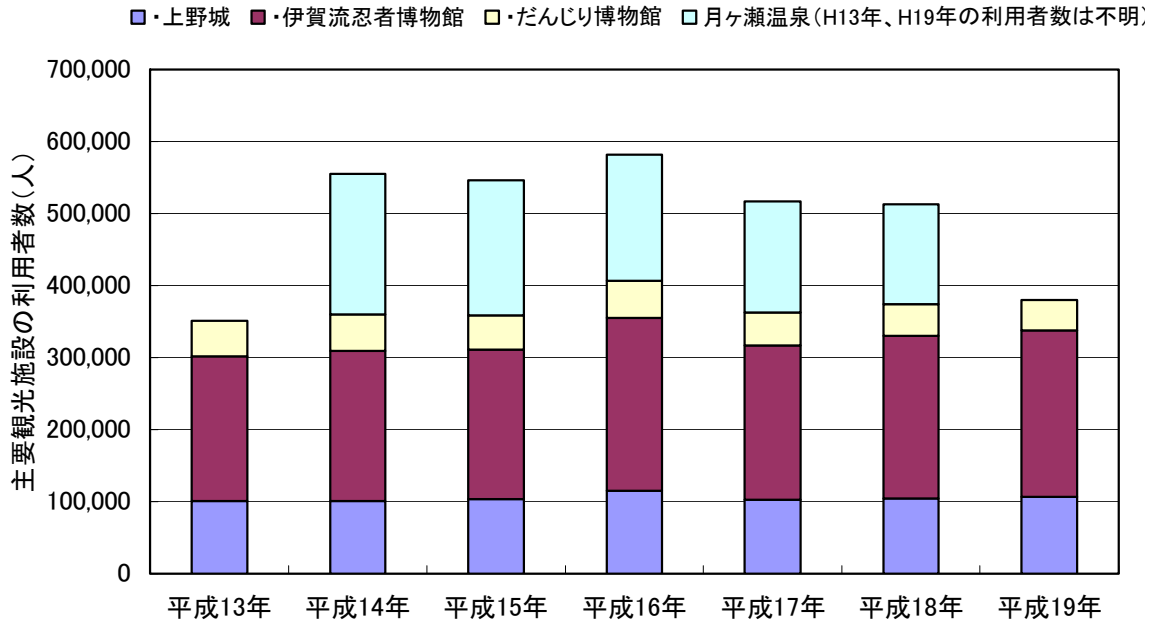


図 7.5.2-1 周辺観光施設利用者数の推移

7.5.3 ダム及び周辺のイベント等の開催状況

高山ダム周辺では、ダムやダム湖、湖周道路等を活用して様々なイベントが開催されている。以下にその開催概要を整理する。

表7.5.3-1 (1) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況 (H18-H21年度開催実績)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
H18年 6月25日 12時30分 ～ 17時00分	第22回 月ヶ瀬レガッタ	月ヶ瀬湖 月ヶ瀬橋 周辺	奈良市体育 協会 奈良市ボ ート協会	240名	ナックルフォア一艇による500mレース ・中学生男子 ・中学生女子 ・一般男子 ・一般女子 合計35チーム参加
H18年 10月22日 9時00分 ～ 16時00分	山城地方 中学校駅伝大会	高山ダム 周辺	山城地方中 学体育連盟 山城地方各 市町村教育 委員会	約1,000名	男子は第52回大会、女子は第20回大会となる山城地区中学校駅伝大会。この大会は、府大会の選考大会も兼ねており、男子・女子共に上位6チームが府大会の出場権を得る。
H18年 11月23日 10時00分 ～ 16時00分	2006むら活き生 きまつり	南山城村 総合グラ ウンド	むら活き生 きまつり実 行委員会	約4,500名	平成元年度から始まった事業で、南山城村の「地場産業の推進」を目標に事業展開を進めている。各ブースでは村の特産品の即売をはじめ、茶の手もみ実演、焼きしいたけの販売、バナナや野菜の販売などが催しされています。高山ダム管理所としては、平成17年度から「高山ダム水源地域ビジョン」の交流活動の一環として参画し、ダム事業の紹介、ダム提内見学、ダム湖遊覧等を催した。
平成19年 2月19日 9時00分 ～ 12時30分	第2回高山ダム 湖環境フォーラ ム	治田区公 民館(伊 賀市)	五月川・波 多野・月ヶ 瀬漁業協同 組合	約150名 (聴衆)	五月川・波多野・月ヶ瀬の3漁協主催の環境問題の住民啓発活動として第2回目の高山ダム環境フォーラムが開催された。「地球温暖化問題と環境に優しい地域づくり」と題した愛媛大学農学部大田助教授の講演会や、地元行政、漁協、高山ダムなどによるパネルディスカッションが行われた。
H19年 2月18日	月ヶ瀬早春マラ ソン	月ヶ瀬湖 周辺	月ヶ瀬梅溪 早春マラソ ン大会実行 委員会	556名	奈良市月ヶ瀬行政センター隣の文化センターをスタート&ゴールとするマラソン大会。3km, 5km, 10kmの折り返し3コースで途中には月ヶ瀬湖を眺めながら約700年の歴史を誇る梅林の中を走る。
H19年 6月24日 9時00分 ～ 16時00分	2007年 月ヶ瀬レガッタ	月ヶ瀬 ボート場	奈良市体育 協会	253名	・中学生男子 ・中学生女子 ・一般男子 ・一般女子 合計47チーム参加
H19年 10月7日	第36回村民体育 祭	南山城村 総合グラ ウンド	南山城村社 会体育振興 会	250名	南山城村の村民体育祭 「健康な笑い、なごやかな心情と友愛」を目指して、村民がスポーツを通じてお互いの親睦を深める。
H19年 10月20日 9時00分 ～	平成19年度 山城地方 中学校駅伝大会	高山ダム 周辺	山城地方中 学体育連盟 山城地方各 市町村教育 委員会	約1,200名	男子は第52回大会、女子は第20回大会となる山城地区中学校駅伝大会。この大会は、府大会の選考大会も兼ねており、男子・女子共に上位6チームが府大会の出場権を得る。

表7.5.3-1 (2) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況 (H18-H21年度開催実績)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
H19年 11月23日 10時00分 ～ 16時00分	2007むら生き生きまつり	南山城村 総合グラ ウンド 高山ダム 各施設	むら生き 生きまつ り実行委 員会	約4,000名	平成元年度から始まった事業で、南山城村の「地場産業の推進」を目標に事業展開を進めている。各ブースでは村の特産品の即売をはじめ、茶の手もみ実演、焼きしいたけの販売、バナナや野菜の販売などが催しされています。高山ダム管理所としては、平成17年度から「高山ダム水源地域ビジョン」の交流活動の一環として参画し、ダム事業の紹介、ダム提内見学、ダム湖遊覧等を催した。
H20年 6月15日 9時00分 ～ 16時00分	2008年 月ヶ瀬レガッタ	月ヶ瀬 ボート場	奈良市体 育協会	約140名	・中学生男子 ・中学生女子 ・一般男子 ・一般女子 合計47チーム参加
H20年 7月26日	外来魚駆除活動	高山ダム	木津川漁 業組合高 山支部	7名	木津川漁業組合高山支部主催の外来魚駆除活動において、水資源機構が協力し、外来魚 95匹を駆除した。
H20年 10月12日	第37回村民体育祭	南山城村 総合グラ ウンド	南山城村 社会体育 振興会	約250名	南山城村の村民体育祭 「健康な笑い、なごやかな心情と友愛」を目指して、村民がスポーツを通じてお互いの親睦を深める。
H20年 10月18日 9時00分 ～	平成20年度 山城地方 中学校 駅伝大会	高山ダム 周辺	山城地方 中学体育 連盟 山城地方 各市町村 教育委員 会	約1,200名	男子は第53回大会、女子は第21回大会となる山城地区中学校駅伝大会。この大会は、府大会の選考大会も兼ねており、男子・女子共に上位6チームが府大会の出場権を得る。
H20年 11月23日 10時00分 ～ 16時00分	2008 むら生き生きまつり	南山城村 総合グラ ウンド 高山ダム 各施設	むら生き 生きまつ り実行委 員会	約4,500名	平成元年度から始まった事業で、南山城村の「地場産業の推進」を目標に事業展開を進めている。各ブースでは村の特産品の即売をはじめ、茶の手もみ実演、焼きしいたけの販売、バナナや野菜の販売などが催しされています。高山ダム管理所としては、平成17年度から「高山ダム水源地域ビジョン」の交流活動の一環として参画し、ダム事業の紹介、ダム提内見学、ダム湖遊覧等を催した。
H21年 2月15日	月ヶ瀬早春 マラソン	月ヶ瀬湖 周辺	月ヶ瀬梅 溪早春マ ラソン大 会実行委 員会	約550名	奈良市月ヶ瀬行政センター隣の文化センターをスタート&ゴールとするマラソン大会。3km, 5km, 10kmの折り返し3コースで途中には月ヶ瀬湖を眺めながら約700年の歴史を誇る梅林の中を走る。
H21年 6月7日	第2回 月ヶ瀬レガッタ	月ヶ瀬橋 下流栈橋	奈良市ボ ート協会	約120名	ダム湖面を利用したボート競技大会。 14チームが参加。

表7.5.3-1 (3) 高山ダム周辺のイベント等の開催状況 (H18-H21年度開催実績)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	行事内容等
H21年 6月21日	2奈良市民体育大会 レガッタ競技大会	月ヶ瀬橋 下流栈橋	主催：奈良市体育協会 主管：奈良市ボート協会、月ヶ瀬スポーツ協会	約230名	奈良市民体育大会の一環として実施されるレガッタ競技。ダム湖面を利用して36チームが参加。
H21年 7月4日	高山ダム湖内外来魚駆除	流木処理道等	木津川漁協	約40名	木津川漁協主催によるダム湖内の外来魚駆除活動。2,742匹の外来魚を駆除。
H21年 10月11日	第38回村民対策 際	京都府立 南山城村	南山城村 社会体育 振興会	約700名	南山城村民が相集いスポーツを通じて親睦と団結を深めることを目的として開催される。
H21年 10月17日	山城駅伝大会	高山ダム 周辺	山城地方 中学校体 育連盟・山 城地方各 市町村（組 合）教育委 員会	約1,200名	駅伝競技大会（開会式9時） （第56回山城地方中学校男子駅伝競技大会、 第24回山城地方中学校女子駅伝競技大会）
H21年 11月23日	2009むら生き生 きまつり	京都府立 南山城少 年自然の 家のグラ ウンド及 び高山ダ ム周辺	むら生き 生きまつ り実行委 員会	約5,000名	村祭り時に湖面と堤体内見学を実施。 南山城村は、京都で唯一の「むら」として、 都市農村交流と地場産業の推進をめざし、年 に一度村一体となって「むら生き生きまつり」 を開催している。21回を迎えた平成21年には、 特産品の販売や、ステージイベントを行なっ た。また、高山ダム管理所は、環境をテーマ にした展示やダム堤体内の見学会等を実施し た。



図 7.5.3-1 (1) 月ヶ瀬梅溪早春マラソン (2009 年 2/15)



図 7.5.3-1 (2) 月ヶ瀬レガッタ (2009 年 6/7)



図 7.5.3-1 (3) 外来魚駆除活動 (2009 年 7/4)



図 7.5.3-1 (4) 山城駅伝大会 (2009 年 10/17)



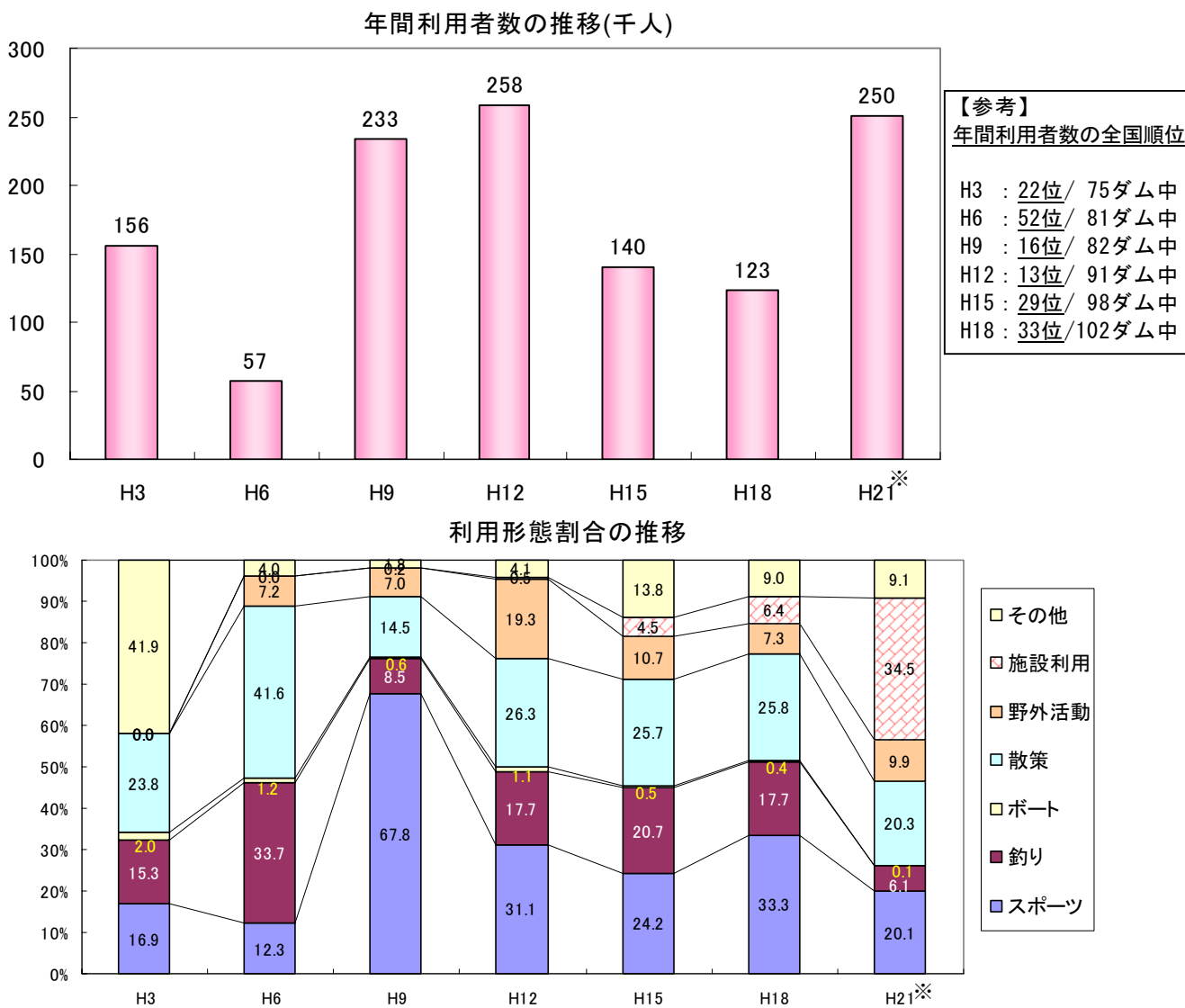
図 7.5.3-1 (5) むら活き生きまつり (2009 年 11/23)

7.6 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果

(1) ダム湖利用実態調査

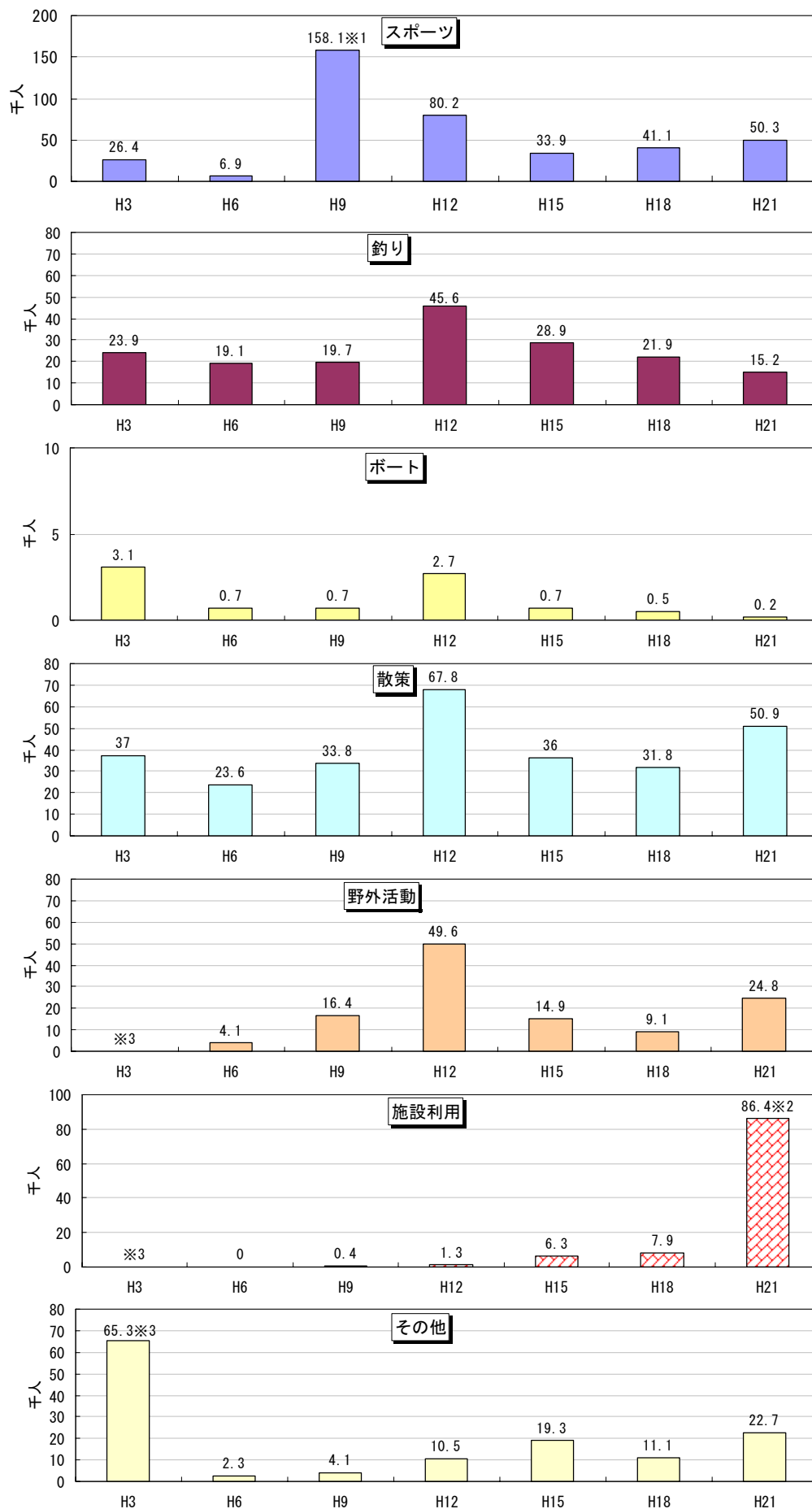
平成 21 年度に実施した河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)の調査結果は図 7.6-1 に示すとおりである。

河川水辺の国勢調査(年間7日間のダム湖利用実態調査)から年間利用者数を推計すると、高山ダムには20万人前後の来訪者があると考えられる。利用形態としては、「スポーツ」、「散策」が多く、比較的「釣り」が多いのも、本ダムの特徴である。



※H21の値は、H18の算出方法により推計(試算)したものであり、公表値でないため、今後変更することもある。

図 7.6-1 高山ダムの利用者の状況



※1 平成9年度のスポーツ利用者数が多いが、夏季調査日が「月ヶ瀬オフロードラン」と重なったためと考えられる。
 ※2 平成21年度の施設利用者が多いが、調査日に「グリーンバル南山城(南山城少年自然の家)」の利用者が多かったためと考えられる。

図 7.6-2 高山ダム周辺の利用形態別利用者数の状況

1. 調査項目・調査時期

表-(1) 調査項目、目的および作成する様式

調査項目	目的	調査実施日等
利用者カウント調査	年間利用者数の推計に用いる基礎データ（サンプル日における利用者数）の収集。 あらかじめ設定した「ブロック区分※1」毎に調査を行った。	表-(2)に示す調査実施日（合計7日間）において実施。
利用者アンケート調査	ダム湖の利用目的、感想等の把握および年間利用者数の推計にあたっての基礎データの収集。	
イベント調査	ダム湖における利用者数の影響要因である各種イベントの開催状況および参加人数の把握。	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間における状況を聞き取り調査等により実施。
施設利用者数調査（H18, 21のみ実施）	ダム湖周辺にある施設での日別利用者数の把握	調査実施年の3月1日から翌年2月28日までの1年間において実施。

※1 ブロック区分：利用者カウント調査において利用者数の集計を行う地理的単位です。基本的には、調査対象区域内の利用環境を踏まえて、調査対象区域を複数のエリアに分割

表-(2) 調査実施日一覧

番号	季節区分	平日休日区分	各年の調査実施日等	備考
1	春季	休日	4月29日（祝日）	ただし、参加人数100人以上のイベント、悪天候、施設の休館日と重なったときは、適宜直近の日で設定
2			5月5日（祝日）	
3		平日	5月中旬の平日	
4	夏季	休日	7月最終日曜日	
5		平日	8月上旬の平日	
6	秋季	休日	11月3日（祝日）	
7	冬季	休日	1月上旬の休日	

2. 調査方法

(1) 利用者カウント調査

- ・調査区域内の利用者数を現地で実測する方法である。
- ・利用者数は、設定したブロック毎に、時間帯別、性別、年齢別、利用区分別に人数をカウント。
- ・原則として、日の出から日没までの間に2時間毎で実施する。
- ・各調査時刻における観測値の合計を一日の利用者数とみなす。

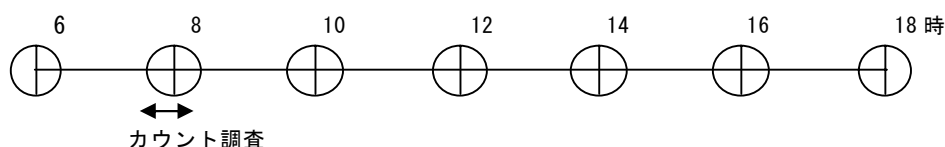


図-(1) 利用者カウント調査の実施間隔の考え方

(2) 利用者アンケート調査

本調査は、利用者に対して直接質問し、回答を得ることにより実施。調査実施日は、利用者カウント調査実施日（7日間）とする。必要なアンケート対象者数（最少サンプル数）は、各調査実施日において20人以上を目標とした。

(3) イベント調査

本調査は、ダム管理者や施設の運営主体等から、調査区域内において開催されたイベントについて、聞き取りを行うことにより調査を実施した。

表-(3) 対象とするイベントの考え方

対象とするイベント等	
期 間	当該年3月から翌年2月の1年間において開催されたイベント等とした。
時 間 帯	対象とする時間帯は特に制限しない。
規 模	参加人数が概ね100人以上となるイベント等とした。
種 類 等	対象とするイベント等の種類や実施・運営主体等は特に制限しない。

3. 年間利用者数の推計方法

各季節別に実施した合計7回の調査(カウント)結果とイベント調査結果をもとに、ダム毎に1年間のダム湖利用者数の推計を行った。

年間の利用者数の推計に当たっては、季節、休日と平日の違いを考慮し、各季節の休日、土曜日、平日の利用者数(実測値を基本とする)を原単位とし、それに各季節の休日・土曜日・平日の日数を乗じた推計値にイベント調査結果を加えることにより、年間利用者数の推計を行った。

なお、平成9年度以前の調査については、イベント調査は行われていないため、上記のイベント人数の加算は行っていない。

【曜日係数】

H15まで:各季節の土曜日および秋季・冬季の平日については実測値がないため、平成4年度に行った補足調査結果より得られた全国平均の比率を乗じる(土曜日=0.37×休日、平日=0.18×休日)ことにより、原単位を求めた。

H18 :H15まで使用した曜日係数は平成4年に設定されたものであり、その間に休暇の取得等に関する社会的な考え方や制度が変化した可能性が考えられたため、H18に新しい曜日係数設定を目的とした追加調査を行った。結果、平成18年は、土曜係数:0.41、平日係数:0.22とされた。

表-(4) 平成21年度高山ダム年間利用者数の推定【平成18年度の係数を使用して試算】

季節	曜日区分	調査日別利用者数(実測値)	原単位			日数			季節別利用者数(推計値)	イベント参加人数(実測値)	年間利用者数(推計値)
			休日	平日	土曜(*1)	休日	平日	土曜			
春季	休日1	680	841(*2)	1,329	345	19	63	13	100,202	7,290	250,426
	休日2	1,002									
	平日	1,329									
夏季	休日	2,094	2,904	947	859	14	65	13	102,032		
	平日	947									
秋季	休日	583	583	128(*3)	239	19	59	13	21,752		
冬季	休日	539	539	119(*3)	221	17	60	13	19,151		

*1: 休日×0.41

*2: 春季休日1と春季休日2の平均値

*3: 休日×0.22

(2) 利用者特性

ダム湖利用実態調査時に行った利用者アンケート調査の結果から、高山ダム利用者の特性を整理した。

アンケートの回答者数は、以下のとおりである。

平成18年度	平成21年度
100人	111人

1) 利用者の属性

利用者層は、平成18年度、平成21年度ともに30歳代が最も多く、次いで40歳代、60歳代、30歳代となっている。20歳代～60歳代まで、幅広い年代に利用されている。

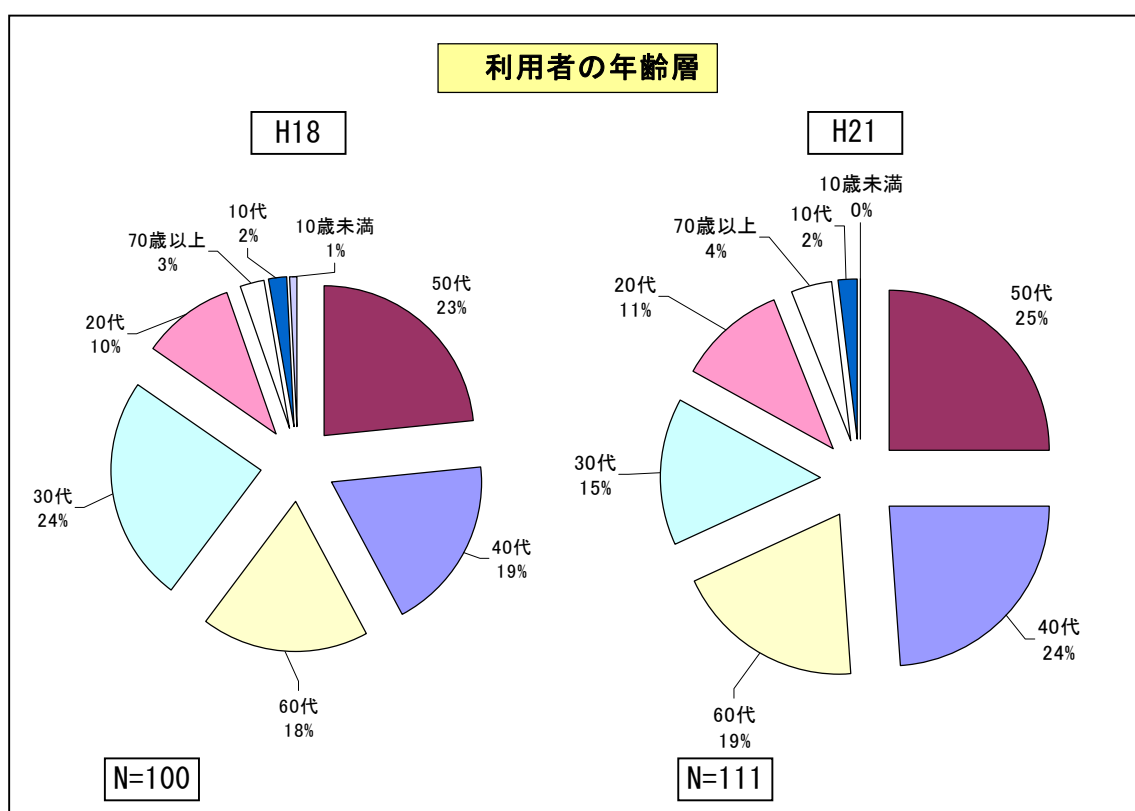


図7.6-3 利用者の年齢層

2)利用者の居住地等

来訪者の居住地は大阪府が多く、大阪府、京都府、奈良府で約8割を占めている。また、関西圏、中京圏（愛知県、岐阜県、三重県）で約95%を占めている。

市町村別では奈良県奈良市が最も多く、平成18年度は14人、平成21年度は12人となっている。

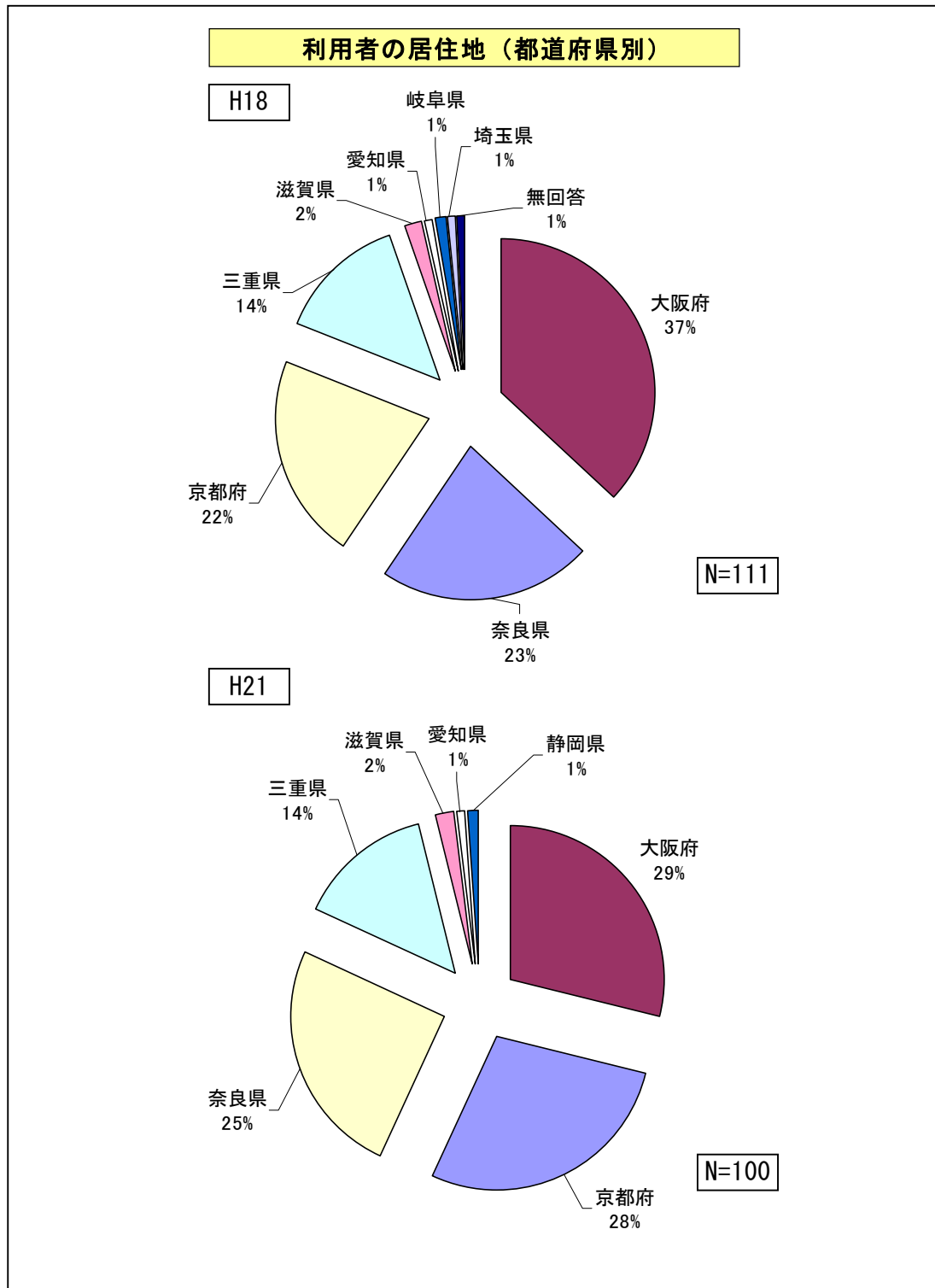
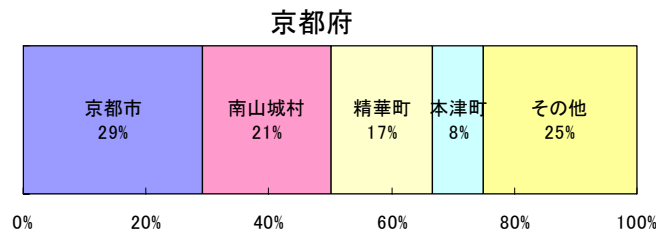
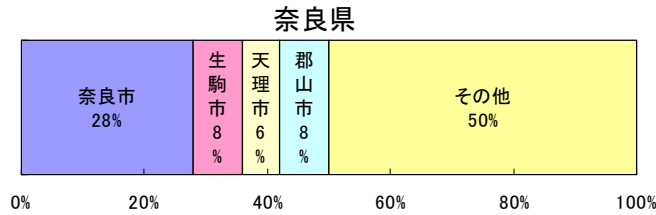
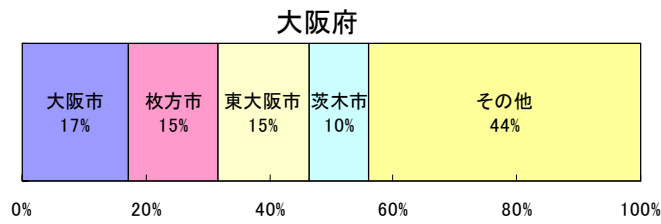


図7.6-4 利用者の居住地等（都道府県別）

利用者の居住地（上位3府県の市町村別内訳 上位4位まで）

H18



H21

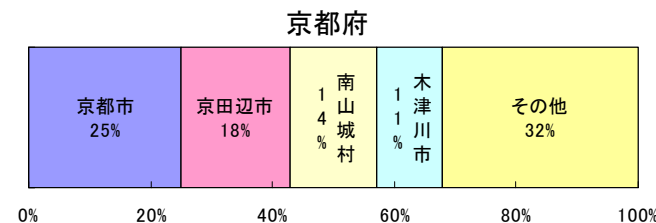
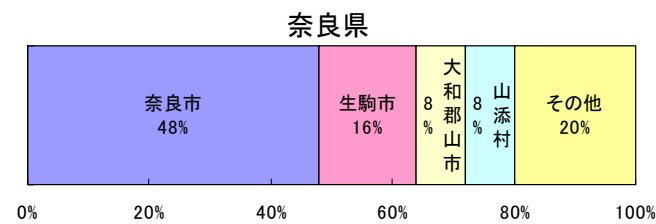
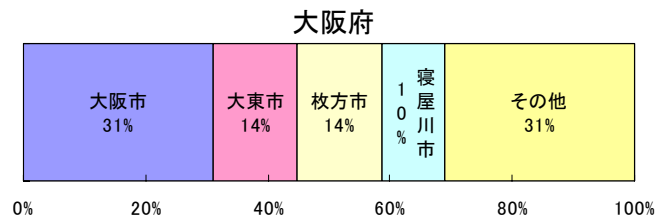


図7.6-5 利用者の居住地等（市町村別）

高山ダムを訪れた利用者のうち、約8割をリピーターが占めている。

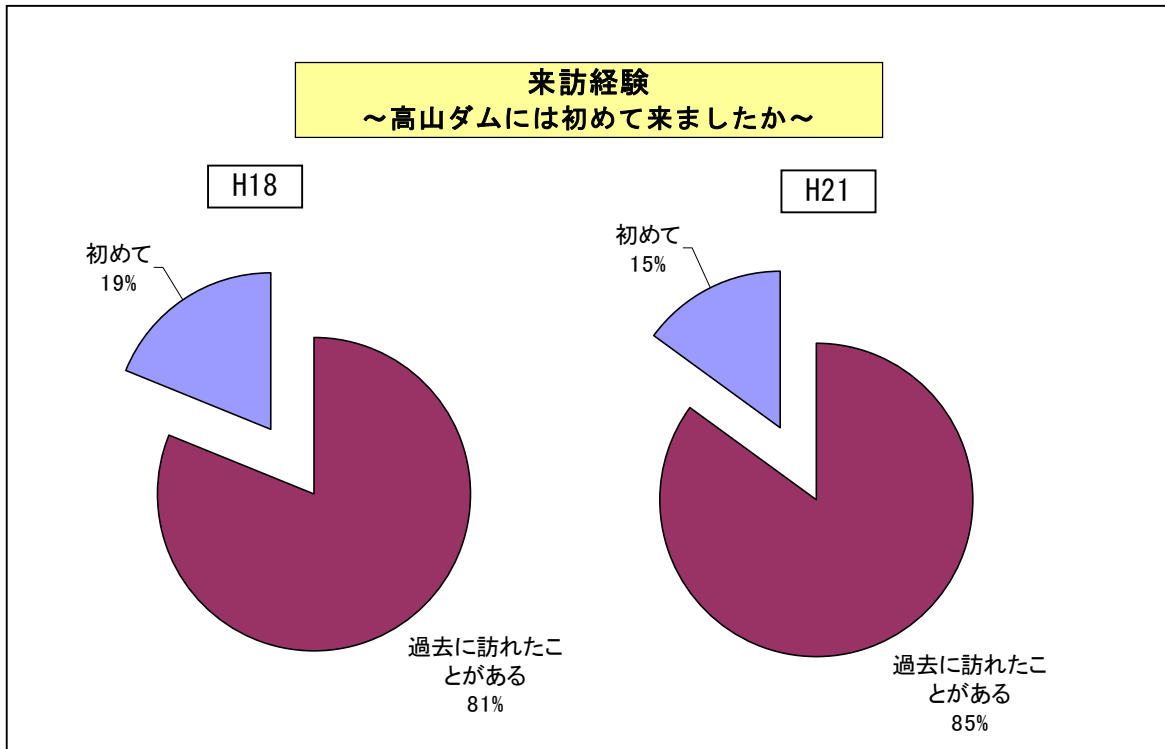


図7.6-6 利用者の来訪経験

平成18年度は家族で訪れる人が最も多く約4割を占めていたが、平成21年度は家族で訪れる人が14ポイント減り、友人等と訪れる人が8ポイント増えている。

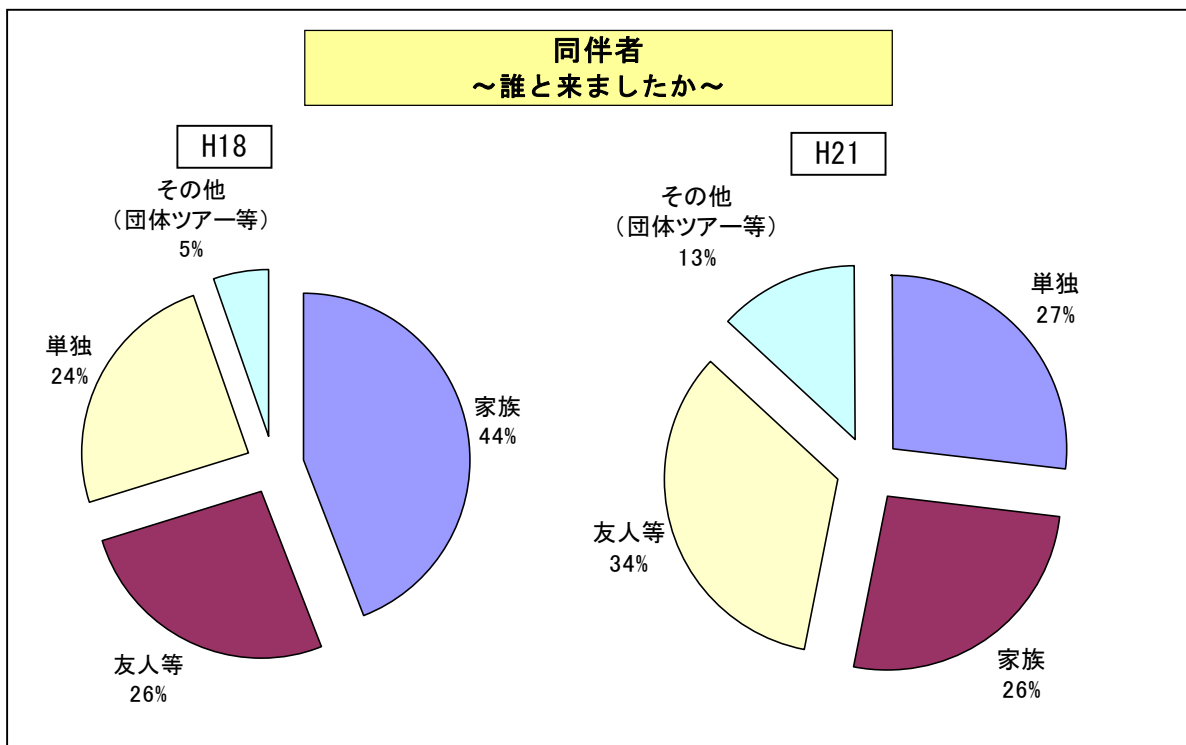


図7.6-7 利用者の同伴者

3) 来訪目的

高山ダムを訪れた主な目的は、「レジャー」が最も多く、次いで「スポーツ」となっている。

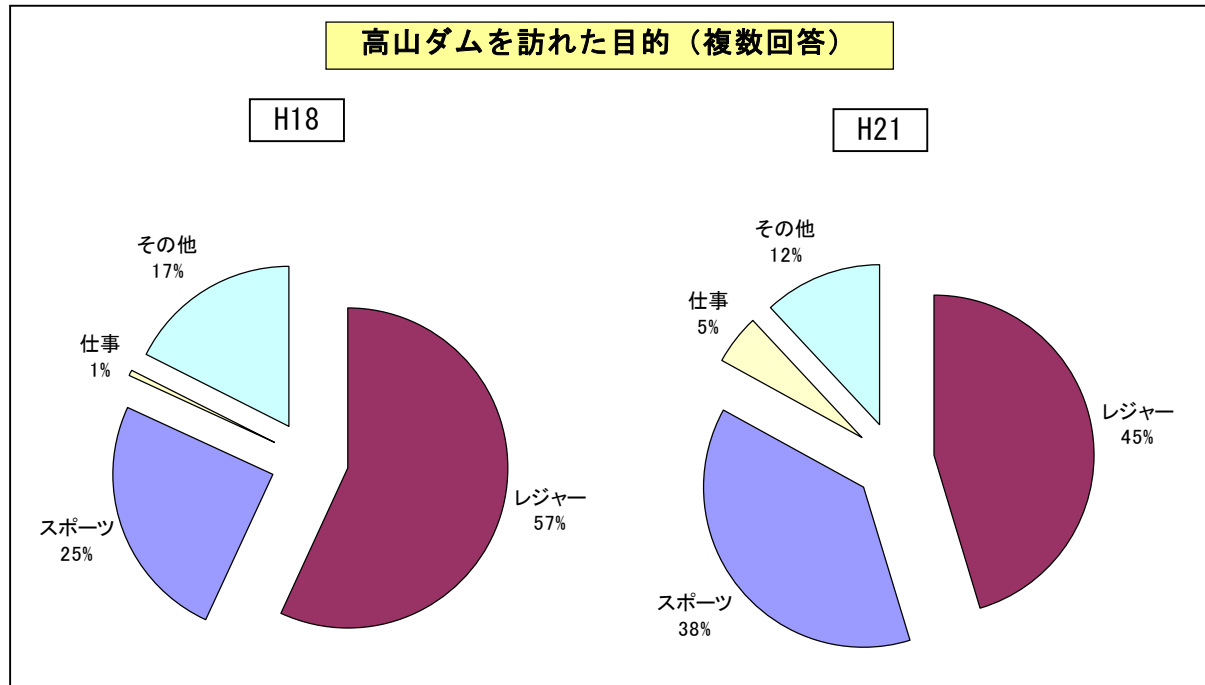


図7.6-8 来訪目的

4) 利用者の感想

高山ダムを利用した人の感想は、「満足」「まあ満足」が約8割を占めている。「やや不満」「不満」と回答した人は8%程度で、「トイレを増設して欲しい」「雨が降ると屋根のある場所が少ない」といった施設に対する不満、「ゴミが多い」といった利用者マナーに関する不満があった。また、釣りに関する感想が多いのは、高山ダムの特徴と言える。

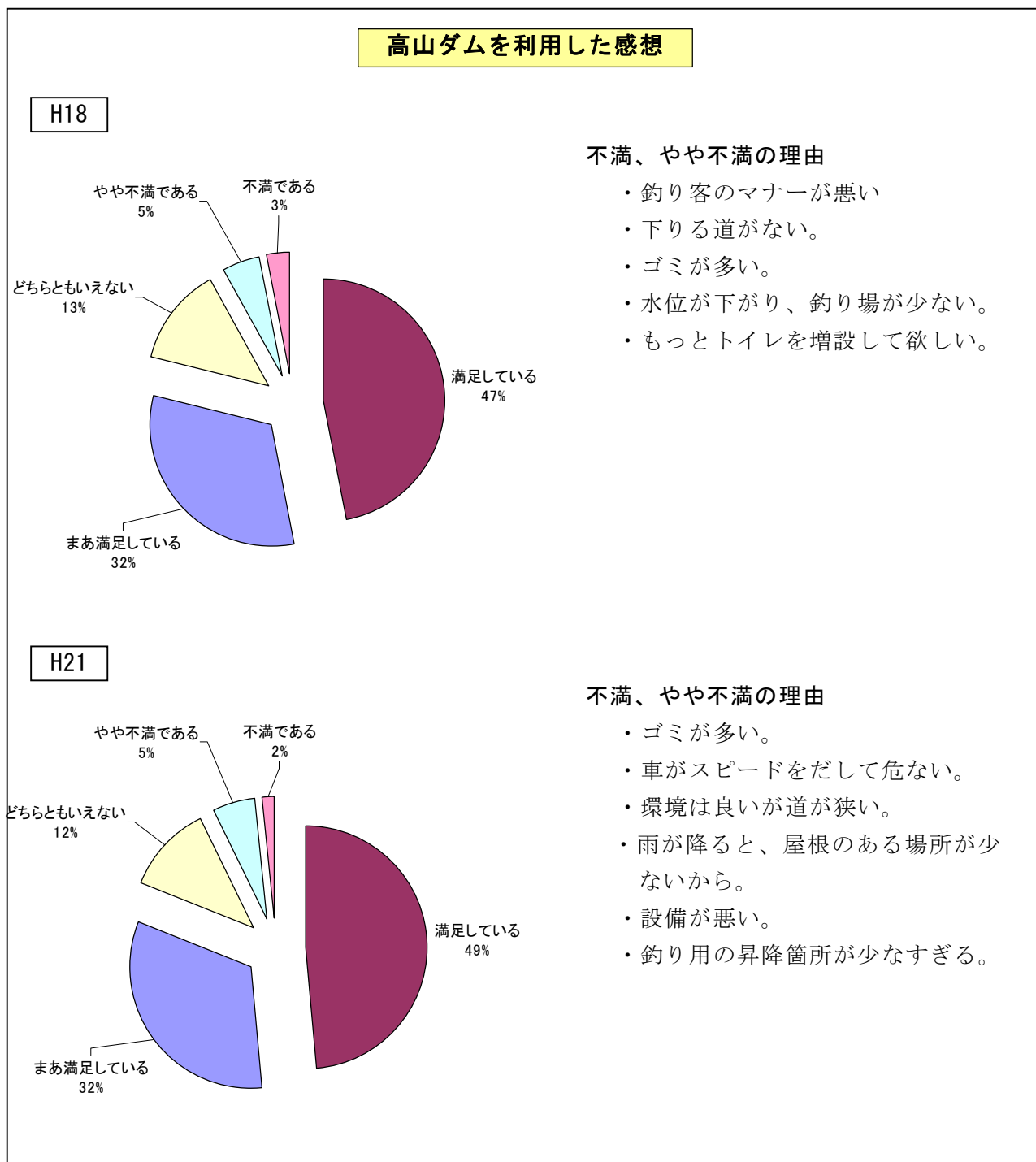


図7.6-8 利用者の感想

7.7 その他関連事項の整理

(1) 高山ダム水源地域の特性分析

高山ダム水源地域の現状から、地域の特徴や資源、ポテンシャルと、地域の活性化に向けた課題点を抽出・整理した。

1) 地域の特徴や資源、ポテンシャル

a) 水源地域全体の特徴や資源、ポテンシャル

○水源地域が3つの府県をまたいで形成されている。

高山ダム水源地域は、京都府、奈良県、三重県という3つの府県にまたがる場所に位置し、水源地域を構成する自治体は2市3村にも及ぶ。このように高山ダムは、県境を越えた多くの自治体や住民が関わっているダムである。

○集客力のある観光資源を有している。

高山ダム水源地域には、歴史的、文化的な観光資源や自然環境、景観資源、レクリエーション資源など様々な観光資源が立地しており、名古屋と大阪の両方を商圏に持つことなどから多くの観光客が訪れている。

○地域への広域的なアクセス利便性が高い。

高山ダム水源地域は、大阪と名古屋を結ぶ名阪国道が東西方向に通過していることによって、広域的なアクセス利便性が高い。

○地域を特徴づける地場産品がある。

高山ダム水源地域のうち、特に京都府相楽郡の南山城村や奈良市の月ヶ瀬地域、山添村などではお茶や梅の生産が盛んであり、これらの農産物やその加工品等が地域を特徴づける地場産品となっている。

b) 高山ダム周辺地域の特徴や資源、ポテンシャル

○貯水池の近接した位置に、地域の主要な観光資源が立地している。

高山ダム貯水池の右岸側には、地域の主要な観光資源である名勝月ヶ瀬梅林が立地しており、貯水池から1kmも離れていないことから、ダムやダム湖との一体的な利活用を図ることが可能なポテンシャルを有している。

○地域内幹線道路が貯水池湖岸を通ることにより、ダム・ダム湖へのアクセス利便性が高い。

地域内の幹線道路である県道上野南山城線が貯水池の左岸側を通過していることから、ダム堤体や貯水池左岸の観光施設へのアクセスが容易である。また、月ヶ瀬橋などを渡って右岸側の月ヶ瀬梅林周辺の施設にも容易にアクセスでき、高山ダム貯水池周辺のアクセス利便性は高いといえる。

○広い範囲の受益地を持ち、治水・利水面での重要な役割を果たしている。

高山ダムは、下流の治水に加え、大阪方面へ水道用水を供給しているなど、広範囲の受益地に対して治水・利水面から重要な役割を果たしている。

○豊かな自然環境が残されている。

高山ダム周辺地域は、市街地の近郊に位置するにもかかわらず、人の生活との係わりによって形成されてきた里山環境や大型の猛禽類が生息できるような自然環境など多様な自然環境が残されている。

2) 地域活性化に向けた課題点

a) 水源地域全体での課題点

○高山ダム水源地域に点在する観光施設間の連携が不十分である。

高山ダム水源地域には、高山ダム貯水池周辺に立地する観光、レクリエーション施設だけでなく、月ヶ瀬梅林や神野山周辺の自然を活用した観光資源や、上野公園周辺の歴史的な観光資源など、様々な観光資源が点在している。しかし、地域内の道路交通網を活用した施設間の連携が十分に図られていない。

b) 高山ダム周辺地域での課題点

○大規模な造成を伴う施設整備による利活用には適していない。

高山ダム周辺の地形は概ね急峻であることなどから、大規模な造成を伴う施設整備による利活用には適していない。

○貯水池周辺施設の管理主体が区域によって異なっている。

貯水池周辺の整備施設はそれぞれ管理主体が異なっているために、統一した管理が行われていない。

○貯水池の直接的な利用が図りにくい。

高山ダム貯水池は、洪水調節のために水位が大きく変動することや、急峻な周辺地形によって湖面へのアプローチ場所が限られている。

○高山ダム・ダム湖と地域住民との日常的な係わりが薄い。

地域住民の高山ダムやダム湖に対する認知度や、周辺でのイベントに対する認知度は高いものの、実際の来訪頻度が少なく、高山ダム・ダム湖と地域住民との日常的な係わりが薄い。

表 7.7-1 高山ダム水源地域の特性分析（まとめ）

	地域の特徴や資源、ポテンシャル	活性化に向けた課題点
水源地域全体	<ul style="list-style-type: none"> ○3府県にまたがる水源地域 ○集客力のある観光資源 ○高いアクセス利便性 ○地域を特徴づける地場産品 	<ul style="list-style-type: none"> ○水源地域内に立地する観光施設間の連携が不十分
高山ダム周辺地域	<ul style="list-style-type: none"> ○月ヶ瀬梅林との一体的な利活用を図ることが可能 ○地域内幹線道路からの比較的高いアクセス利便性 ○治水・利水面で広範囲の地域に貢献 ○豊かな自然環境 	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模な造成を伴う施設整備による利活用には適さない ○貯水池周辺施設の相互連携が図りにくい ○貯水池周辺施設の管理主体が区域によって異なっている ○貯水池の直接的な利用が図りにくい ○高山ダム・ダム湖と地域住民との日常的な係わりが薄い

(2) 文化財等

高山ダム水源地域周辺には、国指定をうけている名勝月ヶ瀬梅林(月ヶ瀬村)をはじめ、国指定(重文)木造薬師如来立像(南山城村)や、県指定の石打城址(月ヶ瀬村)等、多くの文化財がある。

また、ダム湖上流端には、縄文時代の大川遺跡があり、瓦器や住居址が発掘されている。

表 7.7-2 南山城村国・府指定文化財一覧

区分	指定種別	名 称
国	彫刻	木造薬師如来像
府	絵画	絹本著色両界曼荼羅図
		絹本著色星曼荼羅図
	—	田山花踊り

出典：南山城村統計資料 2002

表 7.7-3 月ヶ瀬村国・県指定文化財一覧

区分	指定種別	名 称
国	建造物	菊家家住宅
	名 勝	月ヶ瀬梅林
	選定保存技術	烏梅製造
県	史 跡	尾山代遺跡
		石打城址
	—	奈良晒の紡織技術

出典：月ヶ瀬統計資料編 1999 年度

(3) ダム湖周辺における不法投棄対策

南山城村では、不法投棄を未然に防ぎ、早期発見・早期対応を目指して、平成 15 年 9 月に「南山城村環境パトロール隊」が住民自らの手で立ち上げられた。

このパトロール隊には京都府木津警察署、大河原・高山駐在所の協力を得ながら、村内のパトロールを主に活動している。

水資源機構高山ダム管理所でも貯水池周辺の環境保全と良質で安全な水を確保するために、2 回/週の頻度でダム湖周辺等のパトロールを行っている。



写真 7.7-1 湖面に浮かぶゴミ



写真 7.7-2 湖周囲に捨てられたゴミ



写真 7.7-3 パトロール実施状況



写真 7.7-4 ゴミ撤去の実施状況



写真 7.7-5 不法投棄禁止を呼びかける看板 (高山ダム管理所が設置)

(4) 不法係留船の撤去

高山ダムでは、平成20年に設置された、「月ヶ瀬湖面利用分科会」において、不法係留船の撤去の具現化が決定された。その後、関係機関等との協議の後、平成21年3月12日に、高山ダム貯水池の不法係留船（全58隻）全ての撤去が完了した。

■撤去に至る経緯

H20年 7月 高山ダムに「月ヶ瀬湖面利用分科会」を設置決定

10月 第1回分科会

12月 第2回分科会

不法係留船の撤去具体化することを決定

12月～

① 関係者と協力して不法係留船所有者と積極的に交渉

H21.1.29から所有者による自主撤去が開始

H21.2.16までに50隻撤去

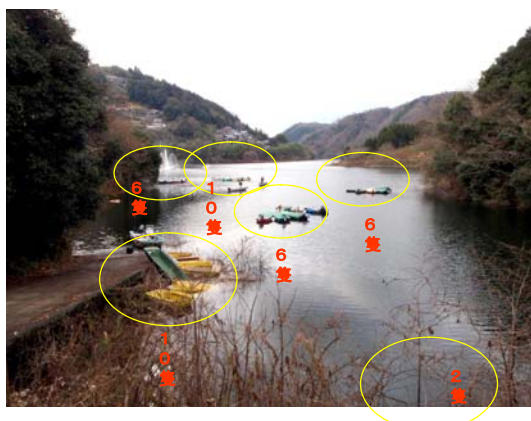
② 弁護士、奈良市、警察、関係機関協議

漂流舟(5隻) → 奈良市が水難救護法に規定される漂流物として受理
(3/4撤去)

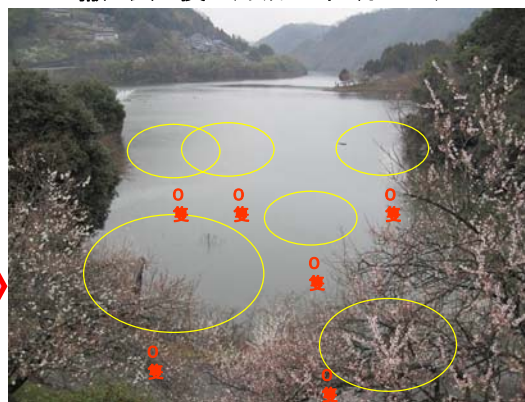
遺失物(3隻) → 奈良警察が遺失物として受理
(3/12撤去)

H21年3月12日 高山ダム貯水池の不法係留舟(全58隻)全て撤去完了

撤去前（平成20年12月22日）



撤去後（平成21年3月13日）



係留状況



警告文設置状況



図 7.7-1 撤去前後の状況

現在は、湖面利用のルールを策定し、実施している。



写真 7.7-6 湖面利用のルールについての看板
(高山ダム管理所が設置)

7.8 まとめ

- 高山ダム周辺には、「月ヶ瀬梅林」など自然を中心とした観光資源が多く分布している。
- 水源地域が京都府、奈良県、三重県という3つの府県にまたがっていることから、多くの観光客が訪れている。
- ダム湖周辺の利用者はリピーターが8割を越えており、レジャーやスポーツを目的として来訪している。利用形態では「スポーツ」、「散策」、「野外活動」「釣り」など多様な利用が行われている。
- 水源地域ビジョンの活動として、月ヶ瀬レガッタ、月ヶ瀬梅溪早春マラソン等のイベントの開催など、地域活性化の取り組みが行われている。

以上より

- ダム管理者として、今後も水源地域ビジョンにおける地域活性化のための方策を支援していくとともに、これらの地域と連携した活動を継続して推進していく。
- ダム周辺の豊かな自然環境を保全するとともに快適な利用が損なわれないよう、維持管理を行っていく。